



XSELECT-D4

D&COMPONENT VIDEO SELECTOR UNIT

D端子&コンポーネント端子セレクター・ユニット

MICOMSOFT

〈製品内容・トラブル・修理に関するお問い合わせ先〉

〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4

朝日新聞ビル6階 電波新聞社・大阪本社内

マイコンソフト株式会社

TEL 06-6203-2827

ホームページURL <http://www.micomsoft.co.jp/>

〈販売・流通に関するお問い合わせ先〉

〒141-8715 東京都品川区東五反田1-11-15

株式会社 電波新聞社・販売部

TEL 03-3445-8201 (ダイヤルイン)

〈商標及び登録商標について〉

VGAは、米国IBM Corp.の登録商標です。

その他、本書に記載された商品名、及び会社名はそれぞれ各社の登録商標です。

取扱説明書

この度は、「XSELECT-D4」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
製品を正しくご使用いただくために、まずこの説明書をよくお読みください。

家庭用テレビに接続される方へ

本機を家庭用テレビに接続する場合は、本機前面の「▼/▶」ボタンを押しながら電源ボタンを押して、本機の電源を「オン」にしてください。

この操作で、映像信号が未入力の時にスクリーン・メニューを「D1(525i)」の信号レベルで表示することができます。(工場出荷時の設定はD1モードです。)

パソコン専用ディスプレイに接続される方へ

本機をパソコン専用ディスプレイ(15ピン・アナログRGBディスプレイ)に接続する場合は、本機前面の「▲/◀」ボタンを押しながら電源ボタンを押して、本機の電源を「オン」にしてください。この操作で、映像信号が未入力の時にスクリーン・メニューを「D2(525p)」の信号レベルで表示することができます。
(「D2モード」になると映像信号が未入力の時に本体のプロGRESSIV・ランプが点灯します。)

パソコン専用ディスプレイでご使用の際は、この操作が必要となります。この設定が正しく行われていない場合は、パソコン専用ディスプレイでスクリーン・メニューや各種のメッセージを画面に表示できないのでご注意ください。

尚、本機の設定を初期化(リセット:工場出荷時の設定に初期化)すると、設定がD1モードに戻ってしまい、画面が表示されなくなりますので、ご注意下さい。

もくじ

	ページ
もくじ	2~3
使用上のご注意(重要)	4~5
はじめに	6
ご使用前に、サポート・ナンバー・シールを貼りましょう	6
本機に接続できる機器と接続できない機器	7
○正しく表示できる映像信号と機器の組み合わせ○	8
△×正しく表示できない映像信号と機器の組み合わせ△×	9
同梱品一覧	10
XSELECT-D4の各部名称と解説	11~19
D端子やコンポーネント・ビデオ端子とは	20~21
リモコンの各部名称と解説	22~23
リモコンを使う前に(電池の入れ方)	24~25
■電池のお取り扱いに関する注意事項	25
リモコンのご使用上の制限と注意事項	26~27
■リモコンのお取り扱いに関する注意事項	27
D映像やコンポーネント・ビデオ映像を切り替えるための接続	28~29
D映像(525p,1125i,750p)をパソコン専用ディスプレイに表示する	30
21ピンRGBマルチ出力を持つビデオ・ゲーム機を接続する	31
15ピン・アナログRGB出力を持つ家庭用ビデオ・ゲーム機を接続する	32
ACアダプターを接続し電源を「オン」にする	33
入力画面の選択(セレクト)方法と画面表示の確認	34
スクリーン・メニュー	35
■スクリーン・メニュー一覧	35
■スクリーン・メニューの各部名称	35
スクリーン・メニューの基本操作	36

もくじ

	ページ
各メニュー項目の機能	37~43
Y_GAIN	37
PB_GAIN	37
PR_GAIN	37
AUTRATI	37
RATIO	38
IN3_SYN	39
IN5_SYN	40
OPTION	41
POWERON	41
CH OSD	41
DEMO	41
IN1_DEM~IN5_DEM	42
VSTART	42
VEND	42
SYNC_UP	42
ATSY_UP	43
H_SEP.	43
NOINPUT	43
ボタンの持つ特殊機能(知っておくと安心です)	44~45
仕様	46~48
■本体仕様	46
■リモコン仕様	47
■リチウム電池仕様	47
■端子仕様	47~48
トラブルの対処法	49~59

使用上のご注意(重要)

XSELECT-D4は精密な電子機器です。お取り扱い時には、次のことにご注意ください。

- 使用中に、本機から煙が出たり、変な臭いがする時は、すぐに使用を中止し、「電波新聞社・販売部 ユーザー・サポート係」または、「マイコンソフト株式会社・サポート係」までご連絡ください。
そのままご使用になりますと火災や感電の原因となりますのでご注意ください。
- 本機は精密機器です。ご使用中や輸送時に強い衝撃与えたり、ケーブルを引っ張るなど激しい取り扱いをしないでください。
- 本機をご使用にならない時は、本機のACアダプターをACコンセントから取り外してください。
- 本製品に付属しているケーブル類を、別の用途に使用しないでください。
本製品に付属しているケーブル類は、本機に映像機器等を接続するために添付されているものです。
- ケーブルなどを接続される際に、コードを引っ張らないでください。
- 本機や、ケーブルの上に物が乗った状態で使用しないでください。
- 本機を長時間使用すると、本体やACアダプターが高温になることがあります。お手を触れる際には十分ご注意ください。
- 接続する端子や接続方法を間違えると、本機や接続した機器が故障する恐れがあります。接続の際は本書をお読みいただき、正しく接続してください。
- 長時間、映像を表示し続けると、テレビ画面に映像の焼き付きが起ることがあります。使用しない時はテレビの電源をオフにするか、本機の電源をスタンバイ（または「オフ」）にすることをおすすめします。
プロジェクション方式のテレビでは、特に焼き付きが起りやすいのでご注意ください。
- 製品には万全を期しておりますが、安全を考慮し、長期間使用しない時（旅行などで長期間留守にする時など）は、本機のACアダプターをACコンセントから取り外すことをおすすめします。また、本機のACアダプターは本体が接続されていなくても、ACコンセントに接続されているだけで若干の電気を消費しますので、長期間使用しない時はACアダプターを取り外した方が電気代も節約できます。
- 本機を直射日光の当たる所に置かないでください。
- ぬれた手で本機を触らないでください。感電する恐れがあります。
- 分解、改造は絶対にしないでください。分解、改造後の保証・修理はいたしません。
- 本機に布をかぶせたり、テレビの上やAVラックの中に設置するなど、熱のこもりやすい状態で使用しないでください。

使用上のご注意(重要)

- お客様が、テレビ画面の「点滅」、「激しい色の変化」、「激しい動き」を見ると気分が悪くなるような体質をお持ちの場合は、本機の使用をご遠慮ください。大画面のテレビをご使用の際は特に注意が必要です。また、テレビ画面を見る時は、部屋を明るくし、できるだけテレビから離れてください。
- 本機を寒い屋外から暖房されている部屋に持ち込むと、急激な温度変化により、表面に水滴がつくことがあります。水滴がついたままご使用になりますと、故障、感電、火災の原因となります。
- 本機は、室内での使用を前提として設計されています。このため、屋外など過酷な条件や、極端な温度・湿度条件下で使用した際の動作は保証できません。
- 業務用途での使用（例えば1年間電源を切らずに連続使用するなど）を前提として設計されておりませんので、仕様面や耐久性において、お客様の満足がいかないことがあります。他機器へ組込み込んで出荷するなど、業務用途で長期に連続稼働が必要とされるシステムへの利用はおすすめできません。
- 本機は一般的なオフィスや家庭での使用を前提として設計された民生用の装置です。本機を、軍事機器、航空宇宙機器、原子力制御システム、幹線通信機器、交通機器、医療機器および、各種安全装置など、その故障や誤動作が社会・公共性または、直接人命や人体、財産に影響を及ぼすような高い品質・信頼性が要求される用途に使用しないでください。
- 本製品を本来の目的意外の用途に使用しないでください。
- 本製品を、日本国以外の国や地域（海外）では使用しないでください。日本国以外の国や地域で使用した際の事故、故障、損害に関しましては保証できません。保証規定は、日本国内においてのみ有効です。尚、本機を日本国外へ持ち出す際（輸出の際）は弊社までご連絡ください。
- 本機の仕様や概観を改良のため予告なく変更する場合があります。また、予告なく本機の製造や販売を終了することがあります。ご了承ください。
- 本機の保証期間は、保証規定に従い、お買い上げ日から6ヶ月となります。それ以降は有償修理となります。また、本機のサポート期間は、生産完了後5年間とさせていただきます。それ以降は、部品等の供給の問題から修理できないことがあります。
- どうしても本機が正常に動作しない時や、操作がよく分からない時は、まず弊社にご連絡いただき、担当者の指示に従ってください。
- この取扱説明書の指示に従わずに発生した、いかなる事故、損害に関しても、弊社は一切責任を負いません。

はじめに

この度は「XSELECT-D4」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書には、「XSELECT-D4」を正しくご使用いただくための接続方法や操作方法が書かれておりますので、本機をご使用になる前によくお読みください。

「XSELECT-D4」はD端子やコンポーネント・ビデオ端子の映像信号と音声信号を切り替えるための、切り替え装置です。

本機は、5系統の入力を備えており、映像と音声を切り替えて、1台の家庭用テレビ等に出力することができます。

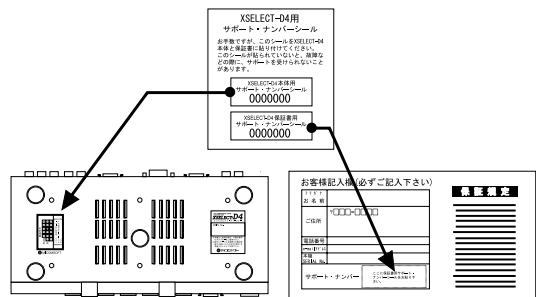
D入力端子が1系統しか無いテレビに、D出力端子を持つ複数の映像機器や家庭用ビデオ・ゲーム機を接続する際にご利用いただくと便利です。

ご使用前に、サポート・ナンバー・シールを貼りましょう

恐れ入りますが、本機をご使用になる前に、同梱の「サポート・ナンバー・シール」を、「XSELECT-D4」本体と、「保証書」の指定の位置にお貼りください。

「サポート・ナンバー・シール」は、お客様が修理を依頼される時や、サポートをお受けになる際に、必ず必要となります。「サポート・ナンバー・シール」が貼られていないと、製品の修理やサポートをお断りさせていただく場合がございます。「サポート・ナンバー・シール」は、正規の国内流通品と海外流通品（逆輸入品等）とを区別するためのものです。

また、修理依頼等で製品をお送りいただいた際、「サポート・ナンバー・シール」が貼られていない場合は、弊社の判断で、「XSELECT-D4」本体と、保証書に「サポート・ナンバー・シール」を貼らせていただく場合がございます。



本体用サポート・ナンバー・シールを貼る位置

本体の底面にお貼りください。

保証書用サポート・ナンバー・シールを貼る位置

保証書の上記位置にお貼りください。

本機に接続できる機器と接続できない機器

下記に書かれていない機器との接続は、サポートの対象外とさせていただきます。尚、下記の機器でも、接続する機器の組み合わせによって正しく動作しないことがあります。詳しくは、8ページ～9ページ、及び19ページをご覧ください。

本機に接続可能な機器

〈本機の入力側の端子に接続可能な機器の例〉

本機の入力端子には、下記のD出力端子、コンポーネント・ビデオ出力端子、またはRGB出力端子を持つ機器を接続可能です。

1. 家庭用DVDプレイヤー
2. BS/CSデジタル・チューナー
3. 家庭用ビデオ・ゲーム機
4. 家庭用ビデオ・レコーダー（DVDレコーダーやD-VHSビデオ・デッキの再生映像や音声を入力することが可能です）
5. RGB出力（21ピンRGBマルチ）を持つ家庭用ビデオ・ゲーム機
6. セパレート同期の15ピン・アナログRGB出力を持つ家庭用ビデオ・ゲーム機

〈本機のD出力端子に接続可能な機器〉

本機のD出力端子には、下記のD入力端子を持つ映像機器を接続できます。

1. ブラウン管方式の家庭用テレビ
2. フラットパネル型の家庭用テレビ（プラズマ・テレビ、液晶テレビ等）
3. ビデオ・レコーダー（DVDレコーダー等D入力端子を持つ録画機器）

〈本機のRGB出力端子に接続可能な表示機器〉

15ピン・アナログRGB入力端子を持つパソコン専用ディスプレイ（ブラウン管方式の機種で対応水平同期周波数が、31kHz～48kHz、垂直同期周波数が60Hzに対応の機種）

〈本機の音声出力端子に接続できる機器〉

ステレオ・アンプ、またはアンプ内蔵型のパソコン用スピーカー

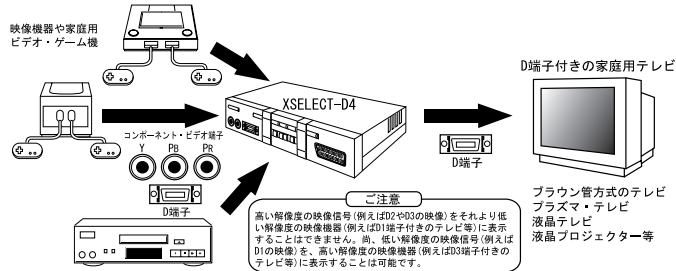
本機に接続しても動作を保証できない、または接続を推奨できない機器

1. 業務用ビデオ・ゲーム機
2. パソコン
3. RGB入力端子しか持たないフラット・パネル型の表示機器（液晶ディスプレイ、プラズマ・ディスプレイ）やRGB入力端子しか持たない液晶プロジェクター。

○正しく表示できる映像信号と機器の組み合わせ○

本機に対応した機器であれば下記の接続・用途でご使用いただけます。

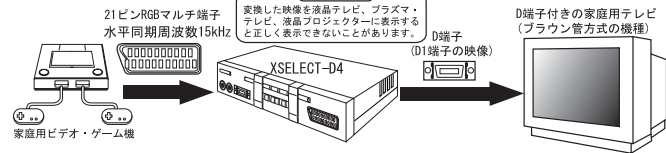
D端子やコンポーネント・ビデオ端子の映像をセレクトして、D端子で出力できます。



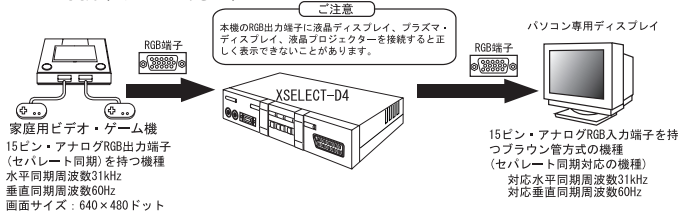
D2 (525p), D3 (1125i), D4 (750p) の映像をRGB映像信号に変換しパソコン専用ディスプレイに表示することができます。



21ピンRGBマルチ端子から入力されたRGB映像信号をD1 (525i) に変換し家庭用テレビに表示することができます。



入力3のRGB端子から入力されたセパレート同期のRGB映像信号をパソコン専用ディスプレイにスルー出力することができます。



△×正しく表示できない映像信号と機器の組み合わせ△

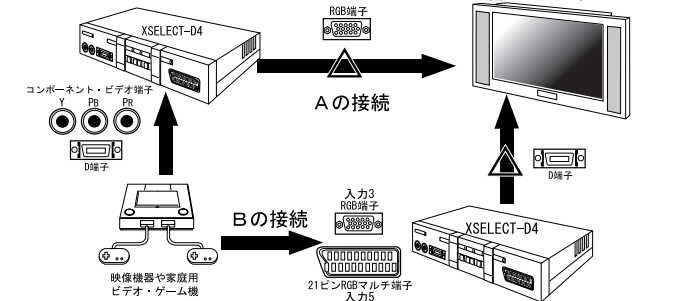
本機に接続できる機器でも、下記の様な接続では動作を保証いたしかねます。

高い解像度の映像(例えばD2やD3)をそれより低い解像度の映像機器(例えばD1端子付き機器)に表示することはできません。



フラット・パネル型の表示機器や、液晶プロジェクターでは、接続方法によって正しく映らないことがあります!

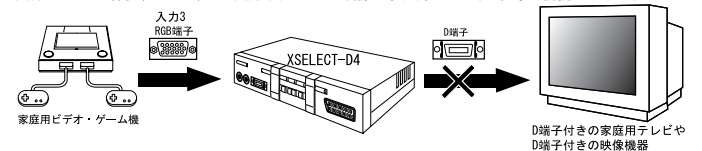
Aの接続: フラットパネル型の表示機器に、XSELECT-D4から出力されるRGB映像信号を入力した際、相性で正しく表示できないことがあります。
Bの接続: XSELECT-D4への映像入力がRGB信号でXSELECT-D4からの映像出力がD端子の時、フラットパネル型の表示機器に接続すると、信号方式の違いや相性により正しく表示できないことがあります。



D1 (525i) や、水平同期周波数15kHzのRGB映像は、パソコン専用ディスプレイで映りません!
本機にはアプスキャン機能などを備えておりませんので、D1 (525i) の映像信号や、水平同期周波数が15kHzのRGB映像を、パソコン専用ディスプレイに表示することはできません。



入力3のRGB端子 (15ピン) から入力されたRGB映像は家庭用テレビでの表示を前提としておりません!

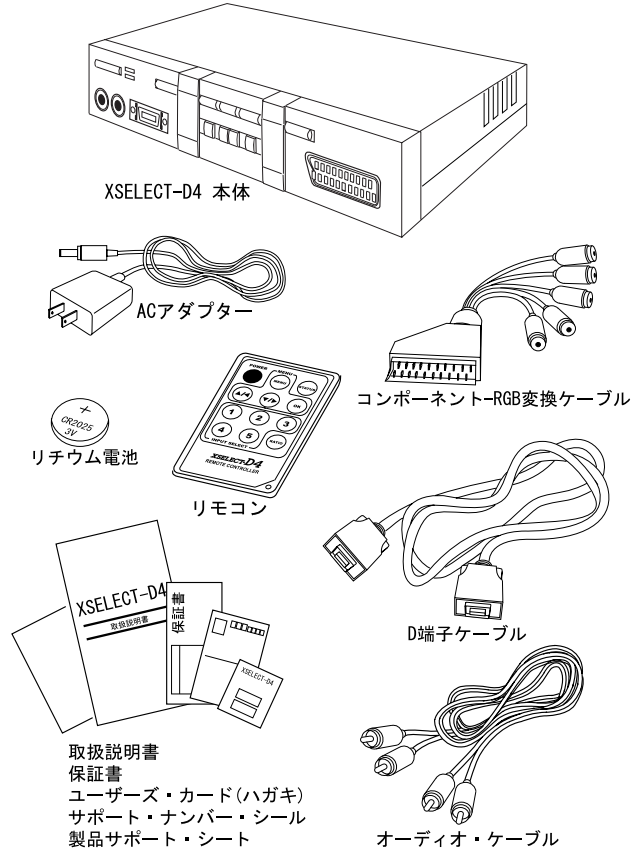


入力側と出力側の端子を、逆に接続しないでください!

本機は5系統入力1系統出力の切り替え機です。1系統入力-5系統出力の切り替え機として使用することはできません。D端子には5Vの電源が流れておりますので、入出力の接続を間違えると本機や接続した機器が故障する恐れがあります。

同梱品一覧

本製品には、下記の物が同梱されております。ご使用前にご確認ください。
製品には万全を期しておりますが、万が一、欠品などがございましたら、ご使用前に弊社までご連絡ください。

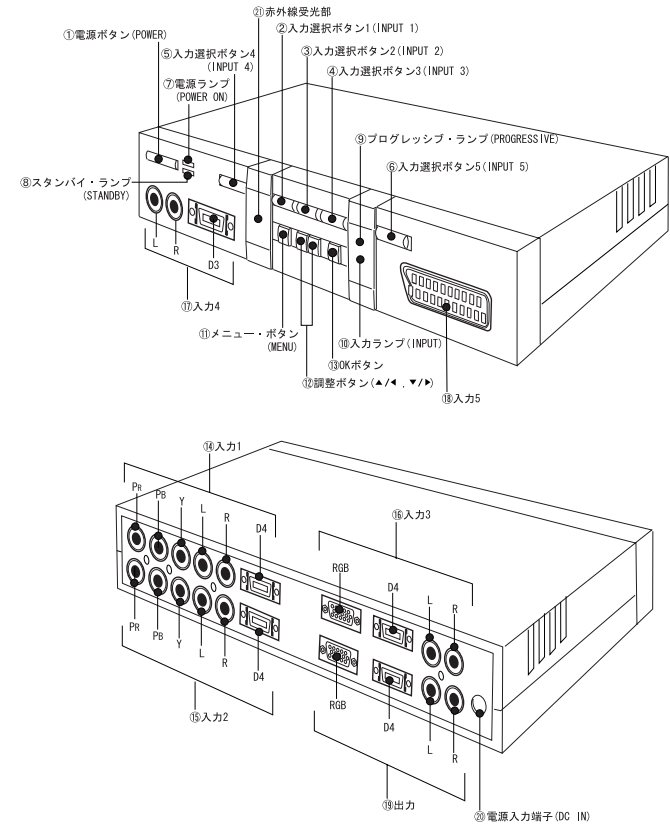


恐れ入りますが、ユーザーズ・カード(ハガキ)は、必要事項をご記入の上、郵便局のポストへ投函してください。お客様のご意見を次回製品の参考とさせていただきます。

XSELECT-D4の各部名称と解説

本機の各部名称は、下記のようになっております。
リモコンの各部名称に関しては、22ページ~23ページをご覧ください。

図1:



①電源ボタン (POWER)

本機の電源が「スタンバイ (待機状態)」の時にこのボタンを押すと、本機の電源を「オン」にすることができます。(電源がオンの時は「電源ランプ (POWER)」が点灯します。)

本機の電源が「オン」の時にこのボタンを1秒以上押すと、本機の電源を「スタンバイ (待機状態)」にすることができます。(電源がスタンバイの時は「待機ランプ (STANDBY)」が点灯します。)

※電源を「オン」したり「スタンバイ」にする時、接続しているスピーカーやテレビのスピーカーから、大きな音が出力されることがありますので、ご注意ください。

②入力選択ボタン1 (INPUT1)

このボタンを押すことで、本体背面の「入力1」の端子から入力される映像と音声を選択することができます。

③入力選択ボタン2 (INPUT2)

このボタンを押すことで、本体背面の「入力2」の端子から入力される映像と音声を選択することができます。

④入力選択ボタン3 (INPUT3)

このボタンを押すことで、本体背面の「入力3」の端子から入力される映像と音声を選択することができます。

⑤入力選択ボタン4 (INPUT4)

このボタンを押すことで、本体前面の「入力4」の端子から入力される映像と音声を選択することができます。

⑥入力選択ボタン5 (INPUT5)

このボタンを押すことで、本体前面の「入力5」の端子から入力される映像と音声を選択することができます。

⑦電源ランプ (POWER ON)

本機の電源が「オン」の時にこのランプ (緑) が点灯します。

⑧スタンバイ・ランプ (STANDBY)

本機の電源がスタンバイ (待機状態) の時にこのランプ (赤) が点灯します。

⑨プログレッシブ・ランプ (PROGRESSIVE)

入出力信号がD2 (525p) または、D4 (750p) の時に点灯します。

入出力信号がプログレッシブであることを知らせるランプです。

入出力信号がD1 (525i)、またはD3 (1125i) の時には点灯しません。(スクリーン・メニューの表示モードが「D2モード」の時は、映像信号が未入力の時にもこのランプが点灯します。)

⑩入力ランプ (INPUT)

現在選択されている本機の入力端子に、映像信号が入力されているかどうかを確認するランプです。

このランプが点灯している時は、映像信号が入力されています。このランプが点灯していない時は、映像信号が入力されていません。(このランプが点灯していない時は、入力端子に接続されている機器の電源が「オフ」になっているか、ケーブル等の接続方法に問題があると思われる。また、映像信号が正常に入力されていてもスクリーン・メニュー等の設定ミスによってランプが点灯しないこともあります。)

⑪メニュー・ボタン (MENU)

このボタンを押すと、接続されている家庭用テレビやディスプレイにスクリーン・メニューを表示します。もう一度押すと、スクリーン・メニューを終了します。

スクリーン・メニューでは、本機の設定変更や入力された映像信号の調整を行うことができます。

⑫調整ボタン (▲/◀, ▼/▶)

このボタンは、スクリーン・メニューを表示している時と表示していない時で、動作が異なります。

スクリーン・メニューを表示している時：

スクリーン・メニュー内の項目を選択したり、各項目の設定内容を変更することができます。

スクリーン・メニューを表示していない時：

「▲/◀」ボタンを押すと、画面比率手動選択 (RATIO [レシオ]) を使用することができます。この機能を使用するには画面比率自動選択機能 (AUT RATIO [オート・レシオ]) を「OFF」に変更してください。

画面比率手動選択 (RATIO) については、38ページをご覧ください。

⑬OKボタン (OK)

このボタンは、スクリーン・メニューを表示している時と表示していない時で、動作が異なります。

スクリーン・メニューを表示している時：

スクリーン・メニュー内の項目を決定したり、各項目の設定変更を決定することができます。

スクリーン・メニューを表示していない時：

画面にステータス（現在の状態）を表示します。

現在の入力チャンネルと、どのような映像が入出力されているか等が表示されます。



⑭入力1

入力1には、D出力端子やコンポーネント・ビデオ出力端子 (Y,Pb,Pr) を持つ映像機器や、家庭用ビデオ・ゲーム機を接続することができます。

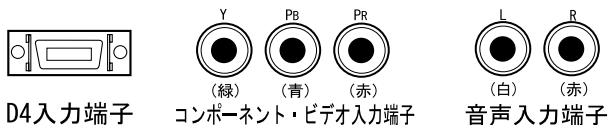
入力1のコンポーネント・ビデオ入力端子 (COMPONENT Y,Pb,Pr) とD4入力端子は映像を入力する端子です。

コンポーネント・ビデオ入力端子 (COMPONENT Y,Pb,Pr) とD4入力端子を同時に使用することはできません。使用する映像機器やケーブルによって端子を使い分けてください。

D4入力端子には、D1 (525i) ,D2 (525p) ,D3 (1125i) ,D4 (750p) の映像信号を入力することができます。コンポーネント・ビデオ入力端子 (COMPONENT Y,Pb,Pr) には525i,525p,1125i,750pの映像信号を入力することができます。

音声入力端子 (AUDIO L,R) からはステレオ音声を入力することができます。L端子にはステレオ音声の「左」、R端子にはステレオ音声の「右」を入力してください。

機器の接続方法は28ページに詳しく書かれております。



⑮入力2

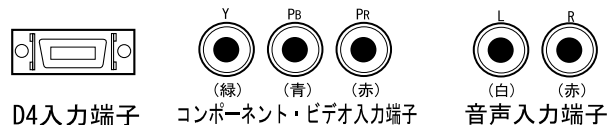
入力2には、D出力端子やコンポーネント・ビデオ出力端子 (Y,Pb,Pr) を持つ映像機器や、家庭用ビデオ・ゲーム機を接続することができます。入力2のコンポーネント・ビデオ入力端子 (COMPONENT Y,Pb,Pr) とD4入力端子は映像を入力する端子です。

コンポーネント・ビデオ入力端子 (COMPONENT Y,Pb,Pr) とD4入力端子を同時に使用することはできません。使用する映像機器やケーブルによって端子を使い分けてください。

D4入力端子には、D1 (525i) ,D2 (525p) ,D3 (1125i) ,D4 (750p) の映像信号を入力することができます。コンポーネント・ビデオ入力端子 (COMPONENT Y,Pb,Pr) には525i,525p,1125i,750pの映像信号を入力することができます。

音声入力端子 (AUDIO L,R) からはステレオ音声を入力することができます。L端子にはステレオ音声の「左」、R端子にはステレオ音声の「右」を入力してください。

機器の接続方法は28ページに詳しく書かれております。



⑯入力3

入力3にはD出力端子を持つ映像機器や家庭用ビデオ・ゲーム機、または15ピン・アナログRGB出力を持つ家庭用ビデオ・ゲーム機を接続することができます。

D4入力端子を使用する場合：

入力3のD4入力端子には、D出力端子を持つ映像機器や、ビデオ・ゲーム機器を接続することができます。

D4入力端子には、D1 (525i) ,D2 (525p) ,D3 (1125i) ,D4 (750p) の映像信号を入力することができます。映像信号をD4入力端子から入力する場合は、スクリーン・メニューの「入力3同期信号選択 (IN3_SYN)」の設定を「YUV」に設定してください。(工場出荷時の設定は「YUV」です。) D4入力端子の機器の接続方法は28ページに詳しく書かれております。

RGB入力端子 (15ピン・アナログRGB入力端子) を使用する場合：

入力3のRGB入力端子には、15ピン・アナログRGB出力を持つビデオ・ゲーム機を接続することができます。

この端子から映像を入力する際は、スクリーン・メニューの「入力3同期信号選択 (IN3_SYN)」の設定を「RGBHV」に設定してください。IN3_SYNの設定を「RGBHV」

に設定すると、この端子にセパレート同期のRGB映像を入力することができます。

IN3_SYNの設定を「RGBCS」に設定すると、この端子に複合同期（TTLレベル）のRGB映像を入力可能ですが、表示するディスプレイによって画面の上部が歪むなどの症状が発生することがあるため、複合同期（TTLレベル）の信号入力時の動作保証はいたしかねます。

IN3_SYNの設定を「RGBSG」に設定すると、この端子にシンク・オン・グリーン同期のRGB映像を入力可能ですが、表示するディスプレイによって画面の上部が歪むなどの症状が発生することがあるため、シンク・オン・グリーン同期の信号入力時の動作保証はいたしかねます。

この端子から入力したRGB映像を、本機のD4出力端子から出力した際の動作保証はいたしかねます。（「画面が歪む」等の症状が発生し、正しく表示できません。）

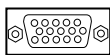
尚、D4入力端子とRGB入力端子を同時に使用することはできません。使用する映像機器やケーブルによって端子を使い分けてください。

RGB入力端子の接続方法は32ページに詳しく書かれております。「入力3同期信号選択（IN3_SYN）」の設定方法や設定内容に関しては、39ページをご覧ください。

音声入力端子（AUDIO L/R）からはステレオ音声を入力することができます。L端子にはステレオ音声の「左」、R端子にはステレオ音声の「右」を入力してください。



D4入力端子



15ピン・アナログRGB入力端子
(15PIN HD-SUB:ミニD-SUB15ピン)



音声入力端子
(白) (赤)

⑩入力4

入力4のD3入力端子には、D3出力端子を持つ映像機器や、家庭用ビデオ・ゲーム機を接続することができます。

D3入力端子には、D1（525i）,D2（525p）,D3（1125i）の映像信号を入力することができます。入力4はD4（750p）の映像には対応していません。

音声入力端子（AUDIO L/R）からはステレオ音声を入力することができます。L端子にはステレオ音声の「左」、R端子にはステレオ音声の「右」を入力してください。

機器の接続方法は29ページに詳しく書かれております。



D3入力端子



音声入力端子
(白) (赤)

⑪入力5

入力5には21ピンRGBマルチ出力（水平同期15kHz）の映像出力を持つ家庭用ビデオ・ゲーム機、またはコンポーネント・ビデオ出力端子（Y,Pb,Pr）を持つ映像機器や家庭用ビデオ・ゲーム機を接続することができます。

RGB信号を入力する場合：

入力5には、21ピンRGBマルチ出力端子を持つ家庭用ビデオ・ゲーム機を接続することができます。（対応できるRGB信号の水平同期周波数は15kHzのみです。）

この端子から21ピンRGBマルチ出力端子を持つ機器の映像を「RGB方式」で入力する際は、スクリーン・メニューの「入力5同期信号選択（IN5_SYN）」の設定を「RGBCS」に設定してください。（工場出荷時の設定は「RGBCS」です。）

この端子から入力されたRGB映像信号は、ブラウン管方式の家庭用テレビでのみ動作を保証いたします。（フラット・パネル型の表示機器やパソコン専用ディスプレイ、液晶プロジェクターに表示した際の動作保証はいたしません。）

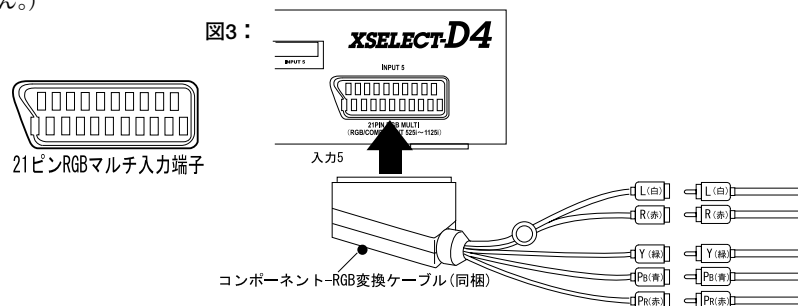
コンポーネント・ビデオ映像を入力する場合：

この端子は同梱の変換ケーブル（コンポーネント-RGB変換ケーブル）を使用することで、下図の様にコンポーネント・ビデオ出力端子（Y,Pb,Pr）を持つ映像機器やビデオ・ゲーム機を接続できます。入力したい映像信号がコンポーネント・ビデオ信号（Y,Pb,Pr）の場合は、「入力5同期信号選択（IN5_SYN）」の設定を「YUV」に設定してください。

「入力5同期信号選択（IN5_SYN）」の設定方法や設定内容に関しては、40ページをご覧ください。

入力される映像信号がコンポーネント・ビデオ（Y,Pb,Pr）の場合は、525i, 525p, 1125iの映像信号を入力することができます。（750pの映像信号には対応していません。）

図3：



⑱出力

本機には、「D4出力端子」と「15ピン・アナログRGB出力端子 (RGB)」、「音声出力端子 (AUDIO L,R)」の出力端子があります。

本機から出力される映像信号は、接続する映像機器の組み合わせによって正しく表示できないこともありますので、まず、お客様の接続が適切なものであるか、次ページ (19ページ) の表1にてご確認ください。

D4出力端子 (D4) :

D4出力端子には、同梱のD端子ケーブルを使用して、D入力端子付きの映像機器 (家庭用テレビ、液晶テレビ、プラズマ・テレビ、液晶プロジェクター、ビデオ・レコーダー [DVDレコーダー等]) を接続することができます。



D4出力端子

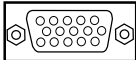
15ピン・アナログRGB出力端子 (RGB) :

15ピン・アナログRGB出力端子 (RGB) には、AT互換機用のパソコン専用ディスプレイを接続することができ、特定の映像信号をパソコン専用ディスプレイに表示することができます。

この端子にフラット・パネル型の表示機器 (液晶ディスプレイやプラズマ・ディスプレイ) 及び液晶プロジェクターを接続した際の動作は保証いたしかねます。

この端子に接続可能な表示機器は、ブラウン管方式の15ピン・アナログRGB入力端子を持つパソコン専用ディスプレイです。

尚、接続するパソコン専用ディスプレイは、水平同期周波数31kHz~48kHz (垂直同期周波数60Hz) に対応し、同期信号がセパレート方式に対応している必要があります。

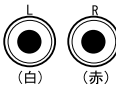


15ピン・アナログRGB出力端子
(15PIN HD-SUB, ミニD-SUB15ピン)

音声出力端子 (AUDIO L,R) :

音声出力端子 (AUDIO L,R) からはステレオ音声を出力することができます。

音声出力端子には、アンプ内蔵型のパソコン用スピーカーや、ステレオ・アンプ (ステレオ・コンボなど) を接続して音声を出力することができます。L端子からはステレオ音声の「左」、R端子からはステレオ音声の「右」を出力します。



音声出力端子

表1 :

入出力できる、またはできない映像信号の組み合わせ

本機は入力される映像信号の方式や接続する機器の組み合わせによって、映像を正しく出力できる場合と、出力できない場合があります。下記の表をご覧ください、お客様の用途に適しているかどうかをご確認ください。

入力	入力の信号方式	出力側の端子での動作	
		D出力	RGB出力
入力1	D4入力	出力可能	入力がD2 (525p), D3 (1125i), D4 (750p) の時に出力可能 ※1
入力2	コンポーネント・ビデオ入力 (Y, Pb, Pr)	出力可能	
入力3	D4入力	出力可能	セパレート同期信号のRGB映像をスルー出力可能
	RGB入力 (セパレート同期信号方式で、水平同期周波数が31kHz、垂直同期周波数が60HzのアナログRGB映像信号)	保証外	
入力4	D3入力	出力可能	入力がD2 (525p), D3 (1125i) の時に出力可能 ※1
入力5	RGB入力 (複合同期信号 (Csync) で水平同期周波数が15kHzのアナログRGB信号)	D1で出力可能 ※2 ※3	保証外
	コンポーネント・ビデオ入力 (Y, Pb, Pr)	出力可能	入力が525p, 1125i の時に出力可能 ※1

※1 RGB出力を液晶ディスプレイ、液晶テレビ、プラズマ・テレビ、プラズマ・ディスプレイ、液晶プロジェクターで表示した際の動作保証は致しかねます。ブラウン管方式のパソコン専用ディスプレイに接続してください。

※2 液晶ディスプレイ、液晶テレビ、プラズマ・テレビ、プラズマ・ディスプレイ、液晶プロジェクターで表示した際の動作保証は致しかねます。また、ビデオ・レコーダー (DVDレコーダー等) での録画は保証できません。

※3 旧型のビデオ・ゲーム機の映像は正しく表示できないことがあります。

⑳電源入力端子 (DC IN)

付属のACアダプターを接続します。

本機をご使用の際は、必ず本製品に付属の専用ACアダプターをご使用ください。ACアダプターの接続方法は、33ページに詳しく書かれています。



電源入力端子

㉑赤外線受光部

リモコンの赤外線信号を受信する部分です。

ここに向かって、リモコンを操作してください。

リモコンの操作方法や取り扱いについては、22ページ~27ページをご覧ください。

D端子やコンポーネント・ビデオ端子とは

本書に記述されております、D入力端子やD出力端子は、一般的に総称で「D端子(ディーたんし)」と呼ばれます。

D端子の映像信号方式は、端子形状は異なりますが、コンポーネント・ビデオ信号(Y,Pb,Pr)と同じです。D端子は、図4の様な形状をしており、14本のピンがあります。

これらのピンには映像信号の他にテレビの画面比率(16:9/4:3等)の切り替えを行う制御信号なども含まれ、この点がコンポーネント・ビデオ端子(図5)と異なります。

図4：D端子

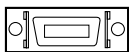
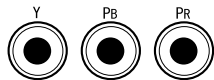


図5：コンポーネント・ビデオ端子



D端子は映像のみで、音声信号は含まれません。

D端子には、D1端子,D2端子,D3端子,D4端子,D5端子の5種類があります。

本機に対応しているのはD1～D4端子で、D5端子には対応しておりません。

D1～D4の映像信号は、いずれもコンポーネント・ビデオ信号ですが、映像信号の周波数が異なり、画質も異なります。尚、各端子はその端子の規格より低い規格の映像信号にも対応しています(例えば、D4端子はD4(750p)の他に、D1(525i),D2(525p),D3(1125i)の映像にも対応可能です。)

表2：各D端子に対応可能な映像信号(○は対応可能)

信号の規格 端子規格	525i (480i)	525p (480p)	1125i (1080i)	750p (720p)
D1	○			
D2	○	○		
D3	○	○	○	
D4	○	○	○	○

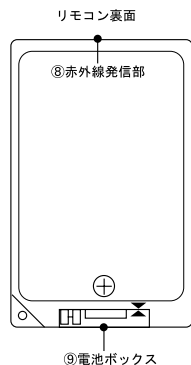
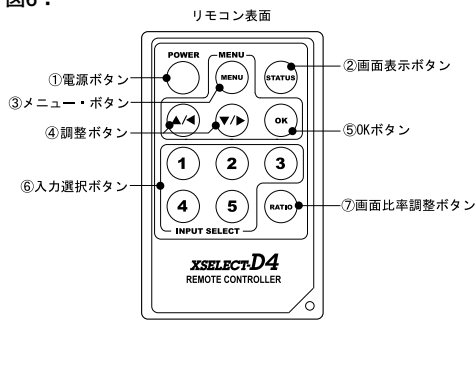
D端子の簡単な仕様について表3にまとめました。

表3：D端子やコンポーネント・ビデオ端子で使用される映像信号の方式

D端子の規格	映像信号の規格	水平同期周波数
D1	525i(480i)	15.75kHz
D2	525p(480p)	31kHz
D3	1125i(1080i)	33kHz
D4	750p(720p)	45kHz

リモコンの各部名称と解説

図6：



①電源ボタン (POWER)

本機の電源が「スタンバイ (待機状態)」の時に、このボタンを押すことで、本体の電源を「オン」にすることができます。

本体の電源が「オン」の時に、このボタンを1秒以上押すと本体の電源を「スタンバイ (待機状態)」にすることができます。

②画面表示ボタン (STATUS)

現在本機に入力または出力されている映像信号の状態 (画面モードや、現在の入力チャンネル) を表示することができます。

③メニュー・ボタン (MENU)

このボタンを押すと、本機の出力側に接続した表示機器 (テレビやディスプレイ等) にスクリーン・メニューを表示することができます。

もう一度ボタンを押すと、設定内容を記憶し、スクリーン・メニューを終了します。

④調整ボタン (▲/◀, ▼/▶)

スクリーン・メニューを表示している時に、スクリーン・メニュー上の「カーソル」を操作し項目を選択することができます。

スクリーン・メニューの項目選択時には、調整バーや、設定を変更することができます。

リモコンの各部名称と解説

⑤OKボタン (OK)

このボタンは、「決定」の意味を持ちます。

スクリーン・メニューの項目を表示している時にこのボタンを押すと、各項目の選択を決定し、設定内容を調整・変更できるようになります。また、設定内容を決定し、メニュー表示に戻ることができます。

⑥入力選択ボタン (1,2,3,4,5)

入力チャンネルを選択することができます。

「1」を押すと「入力1 (INPUT 1)」、 「2」を押すと「入力2 (INPUT 2)」、 「3」を押すと「入力3 (INPUT 3)」、 「4」を押すと「入力4 (INPUT 4)」、 「5」を押すと「入力5 (INPUT 5)」の入力を選択することができます。

⑦画面比率選択ボタン (RATIO)

スクリーン・メニューの「RATIO」機能をこのボタンで使用することができます。

このボタンを何度か押すことで「4:3」→「4:3LB」→「16:9」→「4:3」の様に画面の比率を選択することができます。

このボタンを使用するには、スクリーン・メニューの「AUTRATI」機能の設定を「OFF」にしてください。

また、この機能は使用しているテレビの機種や画面モードによって動作が異なります。

「RATIO」機能については38ページ、「AUTRATI」機能については37ページに詳しく書かれています。

⑧赤外線発信部

リモコンからの制御信号 (赤外線信号) を出力する部分です。

赤外線発信部を本体の赤外線受光部に向けてリモコンを操作してください。

⑨電池ボックス

リチウム電池を入れる部分です。

リチウム電池の挿入方法は24ページ～25ページに詳しく書かれています。

リモコンを使う前に(電池の入れ方)

初めてリモコンを使用する時、またはリモコンの電池を交換する時は、下記の操作でリチウム電池をセットしてください。

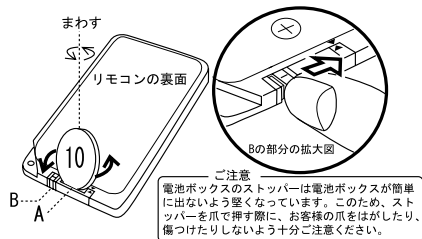
リモコンには工場出荷時に乾電池が挿入されておられません。このため、本機のリモコンを初めてご使用になる時は、リモコンの電池ボックスに同梱のリチウム電池 (CR-2025) をセットする必要があります。

また、長期間本機をご使用になり、リモコンのボタンを押しても反応しなかったり、リモコンの動作が不安定になった時は、リモコンのリチウム電池の容量が少なくなっている可能性がありますので、リチウム電池を交換してみてください。

交換用のリチウム電池は、家電店等でご購入ください。ご購入いただくリチウム電池の型番は「CR-2025」です。

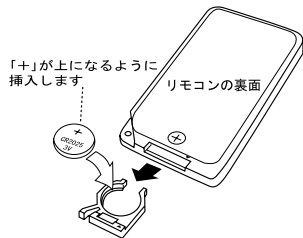
手順1：リモコン背面の「A」の溝に10円硬貨を挿入した後、「B」の部分の「ストップ」を指の爪などで、内側に押しながら、10円硬貨を回します。そうしますと、リチウム電池をセットするための電池ボックスが出てきます。

図7



手順2：電池ボックスを引き出した後、「+」、「-」の極性を確認し、「+」側が上になるようにリチウム電池を電池ボックスに挿入します。

図8



手順3：再度、電池の極性を確認して、電池ボックスをリモコンに挿入します。

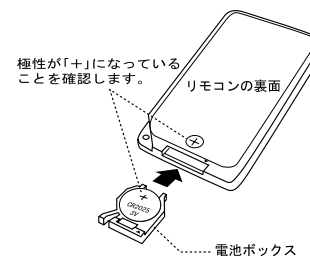
「カチッ」と音が鳴るまで、電池ボックスを押して、リモコンに挿入してください。

最後に、接続が完了した「XSELECT-D4」に向かって、「電源ボタン (POWER)」を押すなどし、リモコンを操作してみてください。(リモコンの機能解説や操作方法は、22ページ～23ページ、及び26ページ～27ページをご覧ください。)

問題なく動作するようであれば、乾電池の挿入作業は完了です。

もし、リモコンが正しく動作しない時は、リチウム電池の向き (極性など) が間違っていないか、もう一度ご確認ください。

図9



電池のお取り扱いに関する注意事項

本機に同梱 (リモコンに付属) されているリチウム電池の取り扱いに関しては、下記の点にご注意ください。

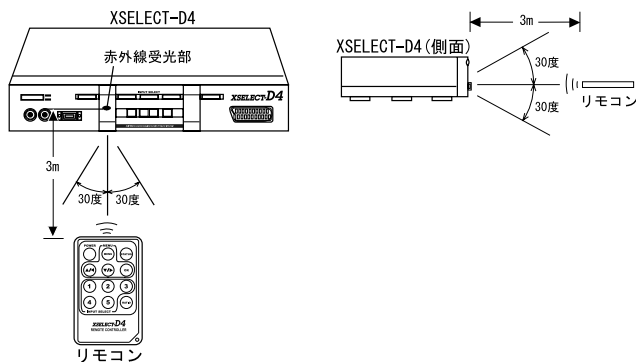
1. 電池を取り外した時は、小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。リチウム電池は、口に入ると大変危険です。お取り扱いには十分ご注意ください。特に小さなお子さまがおられる方はご注意ください。
2. 使用済みの電池は各地方自治体の指示に従って、正しく処分してください。
3. 電池をぬらしたり、ぬれた手で触らないでください。感電の原因となるだけでなく、電池がショートして発熱・破裂・発火する恐れがあります。
4. 電池を交換する際は、電池の極性「+」と「-」を絶対に間違えないでください。極性を間違えて電池を使用すると、電池が発熱・破裂・発火する恐れがあります。

リモコンのご使用上の制限と注意事項

本機のリモコンは、ご使用方法や環境によって正しく動作しないことがあります。
本機のリモコンをご使用の際は、下記の条件でご使用ください。

1. XSELECT-D4本体の赤外線受光部を中心として、リモコンの赤外線発信部は上下左右30度以内の角度で操作してください。それ以上の角度から操作すると、正しく動作しないことがあります。
2. XSELECT-D4本体とリモコンの距離は3m以内で操作してください。3m以上離れると、正しく動作しないことがあります。
3. 直射日光の当たるところや蛍光灯の近くで操作すると、正しく動作しないことがあります。

図10



リモコンのお取り扱いに関する注意事項

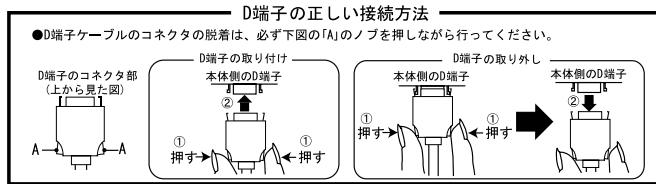
リモコンの取り扱いに関しては、下記の点にご注意ください。

1. リモコンを人に向けて操作しないでください。
2. リモコンは、小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。
3. リモコンをぬらしたり、ぬれた手で操作しないでください。感電や故障の原因となるだけでなく、電池がショートして発熱・破裂・発火する恐れがあります。
4. リモコンは精密機器です。落したり衝撃を加えると故障することがあります。
5. リモコンのボタンが押されたままの状態（何かの下敷きになっている状態など）にしないでください。長期間その様な状態で放置されていると、電池の消耗が早いだけでなく、発熱・破裂・発火する恐れがあります。
6. リモコンを使用しない時は、リモコンの表面（ボタンがある面）を上にし、リモコンの上に物を置かない状態で直射日光の当たらない場所に保管してください。
7. 電池を交換する際は、電池の極性「+」と「-」を絶対に間違えないでください。極性を間違えて電池を使用すると、電池が発熱・破裂・発火する恐れがあります。

D映像やコンポーネント・ビデオ映像を切り替えるための接続

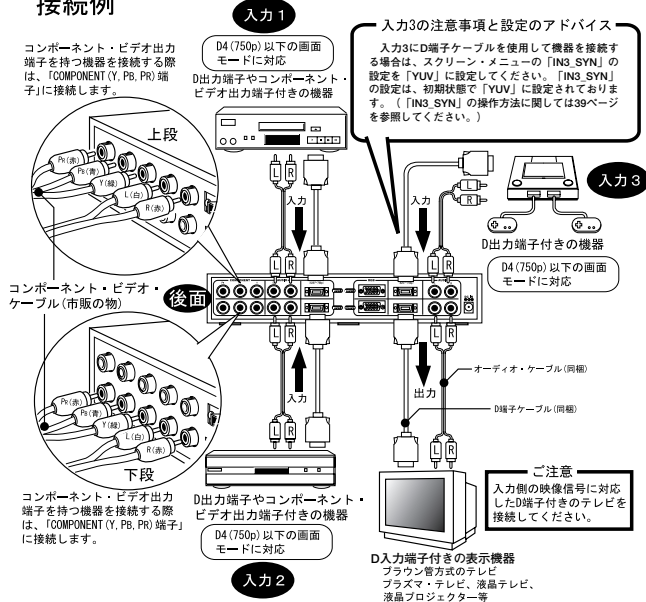
下図や次ページ（29ページ）の接続図を参考にして、本機に映像機器や家庭用ビデオ・ゲーム機を接続してください。各機器を接続する際には、接続する機器の電源を「オフ」または「スタンバイ（待機状態）」にしてください。

ACアダプターの接続方法や接続後の操作方法は、33ページ～34ページを、スクリーン・メニューの操作方法は35ページ～43ページをご覧ください。



本体の後面に機器を接続する

接続例



D映像やコンポーネント・ビデオ映像を切り替えるための接続

本体の前面に機器を接続する

入力5の注意事項と設定のアドバイス

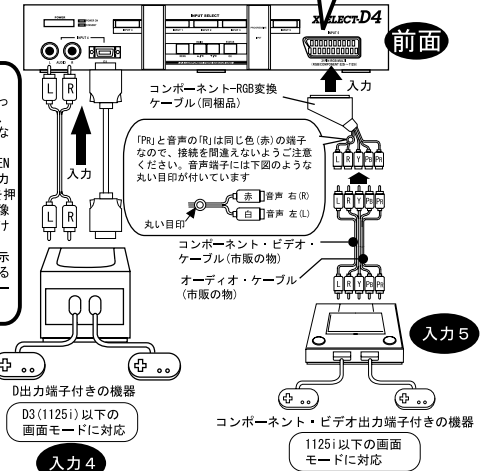
入力5に「コンポーネント-RGB変換ケーブル」を使用し機器を接続する場合は、スクリーン・メニューの「IN5_SYN」の設定を「YUV」に設定してください。「IN5_SYN」の設定は、工場出荷時の設定では「RGBCS」に設定されており、そのままでは画面が映りません。「IN5_SYN」の操作については40ページを参照してください。

画面が乱れた時のアドバイス

スクリーン・メニューの設定が間違っていて設定されている場合、画面が乱れたり、スクリーン・メニューなどが表示されないことがあります。

この様な時は、メニュー・ボタン (MEN U) を押しながら、現在選択している入力チャンネルのボタン (例えばINPUT 5) を押してください。この操作で入力映像を表示せず、スクリーン・メニューだけを画面に表示することができます。

設定を正しく変更した後メニュー表示を終了すると、再度入力映像を表示することができます。これらの操作は45ページに詳しく記述されています。



接続例

ご注意
入力4と入力5に入力できる映像信号はD3以下または1125i以下の解像度を持つ映像です。D4や750pの映像信号には対応できません。

接続時全般の注意事項

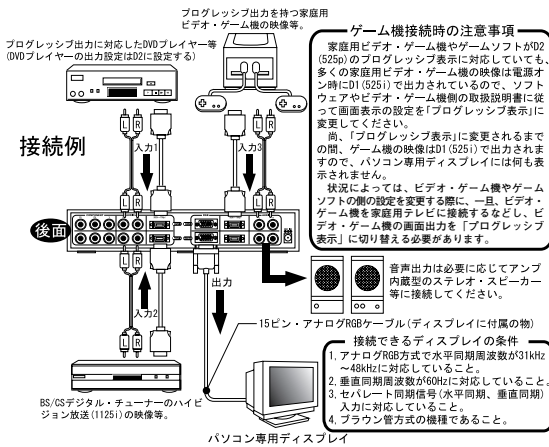
- 接続の際は、本機と接続する各機器の電源を切る（オフ）にするか、スタンバイ（待機状態）にしてください。
- 接続の際は、入出力の端子を間違えないようご注意ください。
- ケーブルのコネクタは、正しい向きで、しっかりと差し込んでください。（D端子の接続方法は左ページの解説をご覧ください。）
- 入力される映像信号によっては本機のスクリーン・メニューの設定を変更しなければ、正しく表示できないことがあります。
- 本機へ映像信号や音声信号を入力するための接続ケーブル（D端子ケーブルやオーディオケーブル）は、市販のケーブルをお買い求めください。弊社では、接続ケーブルのみの販売はいたしておりません。
- 家庭用ビデオ・ゲーム機の機種によって、ゲーム機側の映像出力設定が正しく行われていないと、画面が乱れて正しく表示できない事があります。（ビデオ・ゲーム機側に「コンポーネント・ビデオ (Y, Pb, Pr)」と「RGB」の切り替え機能がある場合には、それらの設定が正しく設定されていることを確認してください。）
- 映像が正しく映らない時は、まず「本機の入力設定（入力チャンネルの選択）が正しいか」、「各機器の出力設定が正しいか」、「接続したい機器をD端子ケーブルで直接テレビに接続しても映らないか」、などをご確認ください。

D端子映像(525p, 1125i, 750p)をパソコン専用ディスプレイに表示する

本機にはD端子の映像やコンポーネント・ビデオ端子の映像をRGB映像信号に変換する機能を搭載しております。

この機能を使用して、D2 (525p)、D3 (1125i)、D4 (750p) の映像信号をパソコン専用ディスプレイに表示することができます。DVDプレイヤーのプログレッシブ映像や、BS/CSデジタル・チューナーなどから出力されるハイビジョン映像等を、高鮮明にパソコン専用ディスプレイに表示することができます。各機器を接続する際には、接続する機器の電源を「オフ」または「スタンバイ (待機状態)」にしてください。

ACアダプターの接続方法や接続後の操作方法は、33ページ～34ページを、スクリーン・メニューの操作方法は35ページ～43ページをご覧ください。



ご注意

- フラット・パネル型の表示機器 (パソコン専用の液晶ディスプレイ、パソコン専用のプラズマ・ディスプレイ等) にRGBケーブルを接続すると、相性などが発生し、正しく表示できない事があります。また、液晶プロジェクターにRGBケーブルを接続された際も動作を保証できません。
- D1 (525i) の映像をパソコン専用ディスプレイで表示することはできません。
- パソコン専用ディスプレイは、家庭用ディスプレイに比べて画面が暗いため、表示される映像によっては、画面の薄暗い部分が真っ黒になってしまい、見辛いことがあります。
- 本機のRGB出力映像をパソコン専用ディスプレイに表示すると、右図の(A)の部分に色が変色が見られたり、ノイズが発生することがあります。
- DVDプレイヤーやD-VHSビデオ・デッキ等の映像再生時にサーチ (早送りや、逆再生) すると、画面が点滅したり乱れることがあります。

アドバイス

RGB出力端子とD4出力端子は同時に使用することができます。例えば、RGB出力端子にパソコン専用ディスプレイを接続し、D4出力端子に家庭用のテレビを接続し同時に画面を見ることができます。ただし、D1 (525i) の映像はパソコン専用ディスプレイでは表示できませんので家庭用のテレビでのみの表示となります。

21ピンRGBマルチ出力を持つビデオ・ゲーム機を接続する

本機に入力された家庭用ビデオ・ゲーム機のRGB映像信号 (21ピン) はD端子付きのテレビに表示することができます。変換された映像信号はD1 (525i) で出力されます。

各機器を接続する際には、接続する機器の電源を「オフ」または「スタンバイ (待機状態)」にしてください。

ACアダプターの接続方法や接続後の操作方法は、33ページ～34ページを、スクリーン・メニューの操作方法は35ページ～43ページをご覧ください。

ご注意

入力5から入力された映像信号がRGB方式の時、本機の出力端子にフラット・パネル型の表示機器を接続すると、相性などが発生し、正しく表示できないことがあります。入力5から入力された映像信号がRGB方式の場合、プラズマ・テレビ、液晶テレビ等との接続はお奨めできません。また、液晶プロジェクターとの接続もおすすめできません。

ご注意

入力5から入力された映像信号がRGB方式の場合は、家庭用のブラウン管方式のテレビでのみ動作を保証いたします。パソコン専用ディスプレイには映りません。本機の出力端子 (RGB) にパソコン専用ディスプレイを接続されている時はご注意ください。

アドバイス

家庭用ビデオ・ゲーム機側に、「コンポーネント・ビデオ出力 (Y、PB、PR信号)」や「RGB出力」の切り替え機能がある場合は、それらの設定を「RGB」に設定してください。ビデオ・ゲーム機側の設定が違っていると、画面が緑色になったり、画面が表示されないなどの症状が発生します。RGBケーブルで接続されていてもビデオ・ゲーム機側の設定によって、Y、PB、PR信号を出力していることがありますのでご注意ください。

入力5の注意事項

入力5に「RGBケーブル」を使用してビデオ・ゲーム機を接続する場合は、スクリーン・メニューの「IN5_SYN」設定を「RGBCS」に設定してください。「IN5_SYN」設定は、工場出荷時は「RGBCS」に設定されております。「IN5_SYN」の詳しい操作方法は40ページを参照してください。

設定の間違ひにより画面が映らない時は、メニュー・ボタン (MENU) を押しながら、現在選択している入力チャンネルの入力選択ボタン (例えばINPUT 5) を押してください。この操作で入力映像を表示せず、スクリーン・メニューだけを画面に表示し、操作することができます。(これらの操作は本書の45ページに詳しく記述されております。)

ご注意

RGB出力 (21ピン) を持つ家庭用ビデオ・ゲーム機 ※入力5から入力できるRGB信号の水平同期周波数は15kHzです。 ※旧型のビデオ・ゲーム機のRGB映像は正しく表示できないことがあります。

15ピン・アナログRGB出力を持つ家庭用ビデオ・ゲーム機を接続する

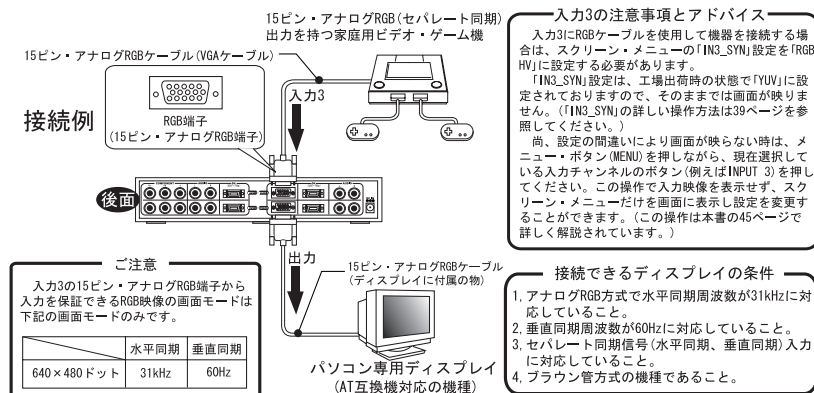
本機の入力3のRGB入力端子には、セパレート同期信号に対応した15ピン・アナログRGB出力（VGA出力）を持つ家庭用ビデオ・ゲーム機を接続することができます。

入力3のRGB入力端子から入力されたRGB映像は、入力3（INPUT 3）が選択されている時、本機のRGB出力端子からスルー出力することができます。

尚、入力3のRGB入力端子にパソコンを接続された際の動作に関しては保証しておりません。正しく表示できないことがありますので、パソコンは接続しないでください。

また、入力3のRGB入力端子から入力された映像を本機のD出力端子から出力し、家庭用テレビに表示した際の動作保証はできません。

各機器を接続する際には、接続する機器の電源を「オフ」または「スタンバイ（待機状態）」にしてください。ACアダプターの接続方法や接続後の操作方法は、33ページ～34ページを、スクリーン・メニューの操作方法は38ページ～44ページをご覧ください。



※本機に複合同期やシンク・オン・グリーン同期のRGB映像信号を入力された際の動作保証はできません。

ご注意：入力3のRGB端子から入力されたRGB映像は出力側のRGB端子に接続された、パソコン専用ディスプレイでのみ動作を保証いたします。入力3のRGB端子から入力されたRGB映像は、家庭用テレビでの表示は保証いたしかねます。

ACアダプターを接続し電源を「オン」にする

すべての接続が終了した後に、ACアダプター（電源）を接続してください。

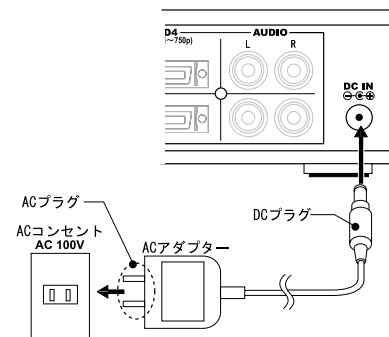
ACアダプターは下記の手順で接続してください。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ACアダプターの接続手順 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

まず、ACアダプターを接続する前に全ての機器（映像機器や、ビデオ・ゲーム機、テレビ等）と本機の接続が正しいことを確認しておきます。

- ①本機に接続された機器（映像機器や、ビデオゲーム機、テレビ等）の電源を「オン」にします。
- ②本機のACアダプターの「DCプラグ」をXSELECT-D4（本体）の「電源入力端子（DC IN）」に接続します。
- ③本機のACアダプターの「ACプラグ」を「ACコンセント（AC 100V）」に接続します。

図11



- ④XSELECT-D4（本体）の「スタンバイ・ランプ（STANDBY：赤ランプ）」が点灯していることを確認します。
 - ⑤XSELECT-D4（本体）または、リモコンの電源ボタン（POWER）を押して、本機の電源を「オン」にします。
- ※電源を「オン」したり「スタンバイ（待機状態）」にする時、接続しているスピーカーやテレビのスピーカーから、大きな音出力されることがありますので、ご注意ください。
- ⑥XSELECT-D4（本体）の「電源ランプ（POWER：緑ランプ）」が点灯していることを確認します。このランプが点灯していれば、ACアダプターの接続は完了です。

入力画面の選択(セレクト)方法と画面表示の確認

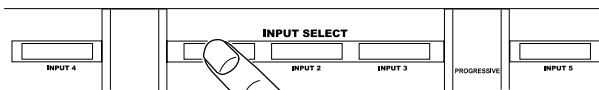
実際に、XSELECT-D4に入力した映像が正しく選択され出力されているか確認してみましょう。

- ①XSELECT-D4(本体)の電源を「オン」の状態にします。
- ②XSELECT-D4(本体)またはリモコンのメニュー・ボタン(MENU)を押してみてください。

テレビ画面やディスプレイ画面にスクリーン・メニューが表示されれば、出力側の機器との接続は正常です。(パソコン専用ディスプレイでスクリーン・メニューを表示する際は、45ページの操作を行い「D2モード」で表示できるようにする必要があります。)

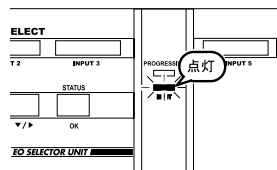
- ③表示したい入力画面の入力選択ボタン (INPUT 1~5) のいずれか1つを押し、入力を切り替えてみます。

図12



- ④正しく映像信号が入力されていれば、本体の入力ランプ (INPUT) が点灯します。

図13



- ⑤テレビ画面、またはディスプレイ画面を見て、入力側に接続した機器の映像が表示されていることを確認してください。テレビやディスプレイに、画面が表示されましたか？画面が真っ黒でも何も表示されていない時や「画面が乱れる」、「画面が変色する」等の症状が発生した時は、下記の点をご確認ください。

<確認1> 入力ランプ (INPUT) は点灯していますか？

入力ランプ (INPUT) が点灯していない時は、選択した入力端子に映像信号が入力されていない可能性があります。

接続している機器の電源がオンになっているか等をご確認ください。

- <確認2> 入力3や入力5でこのような症状が発生する時は、スクリーン・メニューの「IN3_SYN」と「IN5_SYN」の設定に間違いがないかご確認ください。

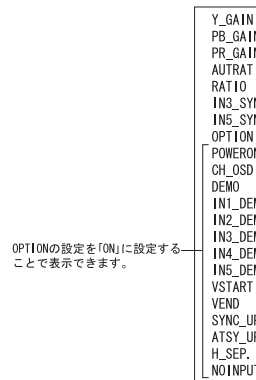
スクリーン・メニュー

■スクリーン・メニュー一覧

スクリーン・メニューには下記の項目があります。

各項目 (機能) の詳しい説明は、37ページ~43ページをご覧ください。

図14

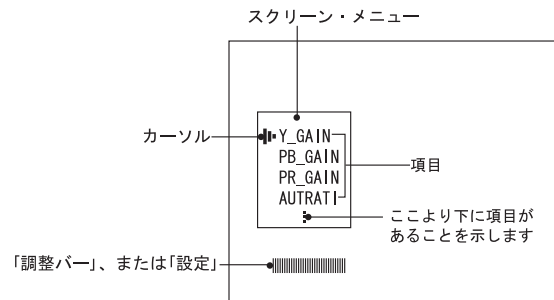


■スクリーン・メニューの各部名称

スクリーン・メニューの各部名称は、下記のようになっております。

スクリーン・メニューは、本体、またはリモコンのメニュー・ボタン (MENU) で、表示することができます。スクリーン・メニューの操作方法は次ページ (36ページ) をご覧ください。

図15



※スクリーン・メニューやメッセージ表示の文字サイズや表示位置は画面モードによって異なります。画面の解像度が高くなると表示が横長になり、表示される位置も上に移動します。

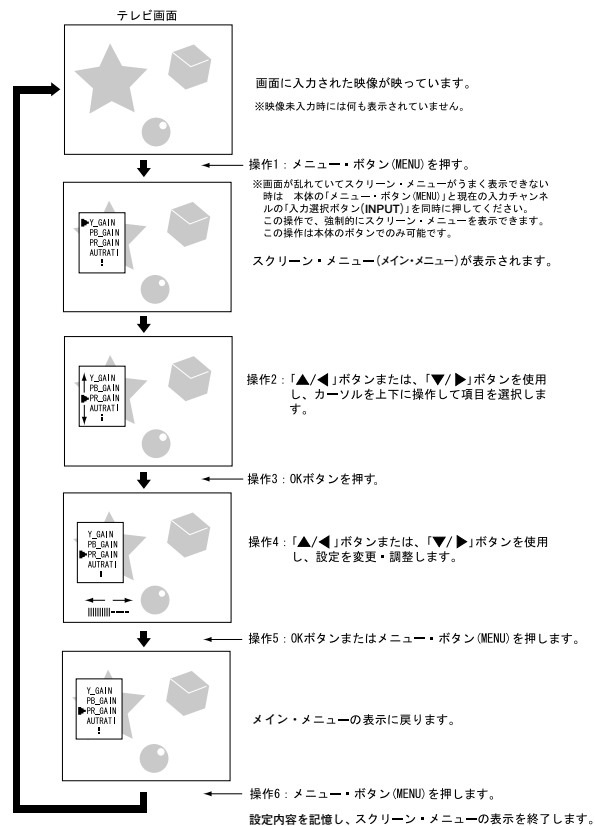
スクリーン・メニューの基本操作

本機では、出力側の端子に接続した映像機器（表示機器）にスクリーン・メニューを表示することで、映像信号を調整したり、各種の設定を変更することができます。

下記の流れ図を参考にして、スクリーン・メニューを操作してみてください。

下記の流れ図では、スクリーン・メニューの操作方法が解説されています。各項目（機能）の詳しい説明は、37ページ～43ページをご覧ください。

図16



各メニュー項目の機能

Y_GAIN (Yゲイン調整)

Y信号のレベルを調整する機能です。「▲/▼」ボタンで調整バー左方向へ調整すると画面が暗くなり、「▼/▶」ボタンで右方向に調整すると画面が明るくなります。

この機能は、入力1～入力5で個別に設定できます。

尚、表示するテレビやディスプレイによっては、暗く調整すると画面が乱れることがありますので、できるだけ標準の明るさでご使用ください。Yゲインの調整によって発生する画面の乱れは、「SYNC_UP」機能(42ページ)や「ATSY_UP」機能(43ページ)で改善できることがあります。

PB_GAIN (PBゲイン調整)

PB信号のレベルを調整する機能です。「▲/▼」ボタンで左方向へ調整すると映像のPBレベルが低くなり、「▼/▶」ボタンで右方向に調整するとPBレベルが高くなります。

この機能は、入力1～入力5で個別に設定できます。

PR_GAIN (PRゲイン調整)

PR信号のレベルを調整する機能です。「▲/▼」ボタンで左方向へ調整すると映像のPRレベルが低くなり、「▼/▶」ボタンで右方向に調整するとPRレベルが高くなります。

この機能は、入力1～入力5で個別に設定できます。

AUTRATI (画面比率自動選択)

映像機器やビデオ・ゲーム機が出力するD端子の画面比率信号を使用するか、本機側で画面比率信号を手動設定するか、を選択することができます。

「▲/▼」ボタンと、「▼/▶」ボタンで操作できます。

「ON」に設定すると、入力側の画面比率信号を出力側のD端子付きのテレビにそのまま伝えます。「OFF」に設定すると、「RATIO」の設定を出力側のD端子付きのテレビに送ります。「RATIO」の操作方法に関しては38ページをご覧ください。

この機能は、出力側のテレビの機種や使用される画面モードによって使用できたり、使用できなかったりしますので、すべてのテレビや画面モードでご使用いただけるとは限りません。この機能は、入力1～入力5で個別に設定できます。

また、この設定が「ON」であっても、ケーブル等の仕様の違いにより画面比率信号が入力されない(接続されていない)時は、「RATIO」の設定値が使用されます。

出力側のRGB端子に接続している表示機器の画面比率は変更できません。

各メニュー項目の機能

RATIO (画面比率手動選択)

本機から出力されるD端子の画面比率信号を手動で設定することができます。

AUTRATIOの設定が「OFF」の時に使用できます。

「▲/◀」ボタンと、「▼/▶」ボタンで操作できます。

- ・設定を「16:9」に設定すると下図①の様に画面のアスペクト比を16:9で表示します。
- ・設定を「4:3LB」に設定すると下図③の様に画面をレター・ボックス表示します。
(ノーマル・テレビでは④の様に画面比率4:3で表示されます。)
- ・設定を「4:3」に設定すると下図②の様に画面のアスペクト比を4:3で表示します。

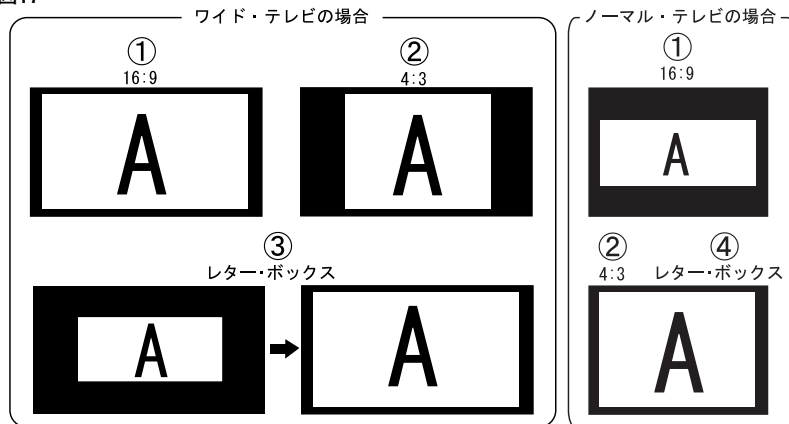
この機能は、出力側のテレビの機種や使用される画面モードによって使用できたり、使用できなかったりしますので、すべてのテレビと画面モードでご使用いただけるとは限りません。(テレビによっては全くご使用できないこともありますし、D1の画面モードでは使用できるがD3の画面モードでは使用できない、などということもあります。)

また、映像信号の内部には、ワイド画面用の自動識別信号が含まれている事があり、そういった映像信号が入力された場合は、RATIOの設定と画面の比率が一致しないことがあります。

尚、出力側のRGB端子に接続している表示機器の画面比率は変更できません。

この機能は、入力1～入力5で個別に設定できます。

図17



各メニュー項目の機能

IN3_SYN (入力3同期信号選択)

「入力3」から入力される映像信号の方式を選択します。

「▲/◀」ボタンと、「▼/▶」ボタンで操作できます。設定を変更後「OK」ボタンまたは「MENU」ボタンを押すことで、設定が画面に反映されます。

入力する映像信号や端子に合わせて、下記のように設定を変更してください。

D4端子を使用する時→「IN3_SYN」設定を「YUV」に設定

RGB端子を使用する時→「IN3_SYN」設定を「RGBHV」※1に設定

尚、IN3_SYNには、「RGBSG」※2と「RGBCS」※3がありますが、これらの設定は通常は使用しません。「RGBSG」や「RGBCS」に設定すると、画面が乱れて正しく表示できなくなりますのでご注意ください。

※1：入力3のRGB入力端子に入力される映像の同期信号がセパレート同期信号（水平同期、垂直同期）の時は「RGBHV」に設定します。

※2：入力3のRGB入力端子に入力される映像の同期信号がシンク・オン・グリーン同期信号の時は「RGBSG」に設定します。ただし、シンク・オン・グリーン同期信号入力時の動作については保証いたしかねます。「RGBSG」の設定は特殊な機器用です。

※3：入力3のRGB入力端子に入力される映像の同期信号が複合同期信号の時は「RGBCS」に設定します。ただし、複合同期信号入力時の動作については保証いたしかねます。

「RGBCS」の設定は特殊な機器用です。

この端子から家庭用ビデオ・ゲーム機の複合同期信号は入力できません。

IN3_SYNの設定を間違えると、画面が乱れたり、画面が全く映らなくなるので、設定変更の際にはご注意ください。

入力チャンネルを入力3に設定した状態で、この設定を変更すると画面が映らなくなることがあります。画面が映らず困った時は、一旦他の入力チャンネル（入力3以外）の画面を表示した状態でIN3_SYNの設定を正しい設定に変更するか、45ページの方法で強制的にスクリーン・メニューを表示し、設定を変更してください。

各メニュー項目の機能

IN5_SYN (入力5同期信号選択)

入力5から入力される映像信号の方式を選択します。

「▲/◀」ボタンと、「▼/▶」ボタンで操作できます。設定を変更後「OK」ボタンまたは「MENU」ボタンを押すことで、設定が画面に反映されます。

「入力5」からコンポーネント・ビデオ・ケーブルで映像を入力する場合は、設定を「YUV」に設定してください。

「入力5」からRGBケーブル（21ピン）でRGB映像を入力する場合は、設定を「RGBCS」に設定してください。

入力チャンネルを入力5に設定した状態で、この設定を変更すると画面が映らなくなることがあります。この場合は、一旦他の入力チャンネル（入力5以外）の画面を表示した状態でIN5_SYNの設定を変更するか、45ページの方法で、強制的にスクリーン・メニューを表示し、設定を変更してください。

「入力5」にビデオ・ゲーム機の映像信号を入力される方へ

接続されているケーブルが「RGBケーブル」であっても、ビデオ・ゲーム機側のシステム設定等にRGB出力と「コンポーネント・ビデオ出力 (Y,Pb,Pr)」の切り替え機能がある場合は、ビデオ・ゲーム機側の出力設定に合わせて、本機の「入力5同期信号選択 (IN5_SYN)」の設定を、下記のように設定してください。

ゲーム機側の出力がY,Pb,Prの時 ➡ XSELECT-D4の「IN5_SYN」設定を「YUV」に設定

ゲーム機側の出力がRGBの時 ➡ XSELECT-D4の「IN5_SYN」設定を「RGBCS」に設定

尚、ゲーム機側の映像出力がY,Pb,Prの時は、RGBケーブルなどを代用せず、コンポーネント・ビデオ専用の接続ケーブルを使用することをおすすめします。

RGBケーブルはケーブルの特性によって、Y,Pb,Pr信号を正しく伝えることができず、画面の一部が歪むことがあります。

本機にRGB映像を入力する場合は「RGBケーブル」を、コンポーネント・ビデオ映像 (Y,Pb,Pr) を入力する場合は、「コンポーネント・ビデオ (Y,Pb,Pr) 専用のケーブル」をご使用ください。

各メニュー項目の機能

OPTION (オプション)

この設定を「ON」にすると、この項目より下の欄に追加項目が現れ、特殊な機能を使用することができます。

工場出荷時の設定は「OFF」です。

POWERON (電源設定)

本機の起動設定を変更できます。

設定が「OFF」の時は、本機にACアダプターを接続した時に「STANDBY (待機状態)」で起動します。この時本体またはリモコンの電源ボタン (POWER) を押すことで、本機の電源を「オン」にすることができます。

設定が「ON」の時は、ACアダプターが通電状態の時、常に電源がオンになります。

本機を市販の電源スイッチ付きのコンセントなどを使用して外部から他の機器と同時に電源をオンにしたい時などに便利です。ただし、外部から電源をオフオンする時は、電源オフ後、5秒以上の時間が経過してから、再度電源をオンしてください。それより短い時間で電源をオフオンすると、本機が正しく動作しないことがあります。

CH_OSD (チャンネル表示設定)

本機の入力を切り替えた時、画面に現在の入力の設定 (例えば「IN1」など) が表示されますが、この機能を「OFF」に設定をしていると、これらの文字が表示されません。

入力切替時に画面に文字を表示したくない場合は、この設定を「OFF」に設定してください。通常は「ON」でを使用することをおすすめします。工場出荷時の設定は「ON」です。

DEMO (デモ・モード)

この設定を「ON」にすると、各入力を自動的に切り替えることができます。

お店の店頭で機器のデモンストレーションをしたい時や、展示会などで多くの機器の画面を、自動的に切り替えて順次見せたい時に使用する機能です。

各入力画面の表示時間の設定は、「IN1_DEM」～「IN5_DEM」(切り替え時間設定)で行うことができ、指定した時間ごとに「入力1」～「入力5」の画面を順に切り替えて表示することができます。

「IN1_DEM」～「IN5_DEM」の設定方法は、次ページ(42ページ)をご覧ください。

各メニュー項目の機能

IN1_DEM～IN5_DEM (切り替え時間設定)

IN1_DEM～IN5_DEMは「デモ・モード (DEMO)」の設定が「ON」の時の各入力(入力1～入力5)の表示時間を設定します。数値が最小(0)の時は、画面は表示されません。数値が最大(255)の画面表示時間は約4分半です。尚、表示時間は入力される信号によって若干異なります。

VSTART (画面上部マスク)

RGB出力(パソコン専用ディスプレイ)の画面上部のマスク位置を調整します。

D端子やコンポーネント・ビデオ端子の映像は、画面上部に情報が含まれた部分があり、それらがノイズの様な画像として表示されます。本来、家庭用のテレビはオーバー・スキャン方式なのでそれらのノイズは見えませんが、パソコン専用ディスプレイはアンダー・スキャン方式なので、ノイズが見えてしまいます。VSTARTは表示領域を変更し、画面上部のノイズを隠す(マスクする)機能です。この設定値は各入力チャンネル共通ですが、画面モードごとに設定できます。この機能は、入力3のRGB入力端子から水平同期周波数31kHz以上の映像を入力した時には使用できません。

VEND (画面下部マスク)

RGB出力(パソコン専用ディスプレイ)の画面下部のマスク位置を調整します。

D端子やコンポーネント・ビデオ端子の映像は、画面下部に情報が含まれた部分があり、それらがノイズの様な画像として表示されます。本来、家庭用のテレビはオーバー・スキャン方式なのでそれらのノイズは見えませんが、パソコン専用ディスプレイはアンダー・スキャン方式なので、ノイズが見えてしまいます。VENDは表示領域を変更し、画面下部のノイズを隠す(マスクする)機能です。この機能は本機への映像入力がD映像またはコンポーネント・ビデオの映像の時だけ使用できます。この設定値は各入力チャンネル共通ですが、画面モードごとに設定できます。この機能は、入力3のRGB入力端子から水平同期周波数31kHz以上の映像を入力した時には使用できません。

SYNC_UP (同期レベル調整)

映像信号によっては同期信号の弱い物があり、画面の一部に歪むようなちらが発生したり、画面が点滅するなどの症状が発生することがあります。

症状が発生する時は、設定を「ON」にしてみてください。同期信号のレベルを変更し、画面の歪みや点滅が改善されることがあります。

通常は「OFF」に設定してご使用ください。工場出荷時の設定は「OFF」です。

この機能は、むやみに設定を変更すると、逆に画面の乱れなどにつながるがあり

ますので、画面表示に問題が無い時は設定を変更しないでください。

この機能を「ON」にすると、画面の水平表示位置が若干変わることがあります。

ATSY_UP (自動同期レベル調整)

「SYNC_UP (同期レベル調整)」にある画面の歪みは、「Yゲイン (Y_GAIN)」が標準設定より低く設定された時に発生しやすい傾向があります。

ATSY_UP機能は、「Yゲイン (Y_GAIN)」が標準設定より低く設定された時に自動的にSYNC_UPの機能が働くようにする機能です。

通常は「OFF」に設定してご使用ください。工場出荷時の設定は「OFF」です。

この機能は、むやみに設定を変更すると、逆に画面の乱れなどにつながるがありますので、画面表示に問題が無い時は設定を変更しないでください。

この機能を「ON」にすると、画面の水平表示位置が若干変わることがあります。

H_SEP. (Y信号同期調整)

接続する機器やケーブルの仕様によって、テレビに画面を表示した時「画面の一部が歪む」、「画面が微妙に揺れる」、「スクリーン・メニューが歪む」などの症状が発生することがあります。この様な時に設定を変更してみてください。症状を改善できることがあります。

設定項目には「DUTY」と「SYNCTIP」があります。設定は入力1～入力5で個別に設定できます。

通常、この機能は「DUTY」ですが、一部の家庭用ゲーム機器や、使用するケーブルとの組み合わせによって、「画面の一部が歪む」、「画面が上下に著しく揺れる」などの症状が発生することがあります。この様な時は設定を「SYNCTIP」に変更してください。

特に画面に乱れなどが無い時は「DUTY」でご使用ください。工場出荷時設定は「DUTY」です。

NOINPUT (メニュー表示モード選択)

映像信号が未入力の時、画面表示(スクリーン・メニューやステータス表示)をD1モード(水平同期周波数15kHz)で表示するか、D2モード(水平同期周波数31kHz)で表示するかを選択することができます。D端子付きの家庭用テレビに接続する場合は、「D1_15K」に設定します。工場出荷時の設定は「D1_15K」です。本機をパソコン専用ディスプレイに接続したい時は、「D2_31K」に設定してください。

この設定を間違えると、テレビやディスプレイに全く画面が表示されなくなるので、ご注意ください。

ボタンの持つ特殊機能 (知っておくと安心です)

メニュー表示モードを「D2モード」(31kHz)に変更する：
(「▲/▼」ボタン+「POWER」ボタン)

本機の電源がスタンバイ(待機状態)の時に、本体の「▲/▼」ボタンを押しながら電源ボタン(POWER)を押して本機の電源を「オン」にすると、映像未入力時のメッセージ表示をD2(525p:水平同期周波数31kHz)の画面モードで表示することができます。(この機能の操作は、スクリーン・メニュー内の「NOINPUT」でも行うことができます。)

パソコン専用ディスプレイに初めて接続する時は、必ずこの操作を行ってください。パソコン専用ディスプレイの多くは、水平同期周波数31kHz以上に対応しているため、D1(525i)の映像で出力されるスクリーン・メニューは表示できませんので、必ずこの操作が必要となります。(「D2モード」になると映像信号が未入力の時に本体のプログラムランプが点灯します。)

ただし、この操作を行うとD2(525p)以上の画面モードに対応していない家庭用テレビでは、逆に映像未入力時のスクリーン・メニュー等を表示することができなくなります。

この機能は、本体のボタンでのみ使用できます。リモコンでは使用できません。

尚、本機の設定を初期化(リセット:工場出荷時の設定に初期化)すると、設定がD1モードに戻りますので、再設定が必要となります。

メニュー表示モードを「D1モード」(15kHz)に変更する：
(「▼/▶」ボタン+「POWER」ボタン)

本機の電源がスタンバイ(待機状態)の時に、「▼/▶」ボタンを押しながら電源ボタン(POWER)を押して本機の電源を「オン」にすると、映像未入力時のメッセージ表示をD1(525i:水平同期周波数15kHz)の画面モードで表示することができます。(工場出荷時の設定はD1モードです。)

家庭用テレビで本機をご使用の場合は、この操作を行ってください。

尚、D1モードでは、パソコン専用ディスプレイに、映像未入力時にスクリーン・メニュー等を表示することができません。

この機能は、本体のボタンでのみ使用できます。リモコンでは使用できません。

ボタンの持つ特殊機能 (知っておくと安心です)

画面が乱れていても強制的にスクリーン・メニューを表示する：
(「MENU」ボタン+現在選択している入力の「INPUT」ボタン)

電源が「オン」の時に、メニュー・ボタン(MENU)を押しながら、現在選択している入力の入力選択ボタン(INPUT)を同時に押すと、強制的にスクリーン・メニューのみを表示することができます。

入力信号の方式の違いにより画面が乱れたり、画面に何も表示されない様な状態になった時、この操作でスクリーン・メニューのみを表示し、操作することができます。(この時、入力された映像の画面は全く表示されません。)

この強制的なメニュー表示を終了したい時は、メニュー・ボタン(MENU)を押すか、入力チャンネルを切り替えてください。

ただし、前ページ(44ページ)で解説されている、「メニュー表示モード」の違いによって画面が表示できない場合は、この機能を使用してもスクリーン・メニューを表示できません。

この機能は、本体のボタンでのみ使用できます。リモコンでは使用できません。

工場出荷時の設定に初期化する：
(「MENU」ボタン+「OK」ボタン+「POWER」ボタン)

本機の電源がスタンバイ(待機状態)の時、メニュー・ボタン(MENU)とOKボタンを押しながら電源ボタン(POWER)を押して本機の電源を「オン」にすると、設定された内容を初期化し、工場出荷時の設定に戻すことができます。

スクリーン・メニューの機能を間違えて操作し設定を元に戻せなくなった時や、画面が表示されなくなって困った時に、この機能を使用してください。

この機能は、本体のボタンでのみ使用できます。リモコンでは使用できません。

仕 様

入 力	映像	D端子 (D4/D3)/コンポーネント・ビデオ端子 (Y,PB,PR) 525i, 525p, 1125i, 750p※7対応 14ピン・アンフェノール・ハーフピッチ/RCA Y信号 1Vp-p PB信号 0.7Vp-p (±350mVp-p) PR信号 0.7Vp-p (±350mVp-p) ※7:入力3は750pの入力に対応しておりません。
		21ピンRGBマルチ端子 アナログRGB入力時 垂直同期:60Hz、水平同期:15kHz負極性 RGB信号0.7Vp-p、複合同期信号0.3Vp-p コンポーネント・ビデオ (Y, PB, PR) 入力時 525i, 525p, 1125i対応 Y信号 1Vp-p PB信号 0.7Vp-p (±350mVp-p) PR信号 0.7Vp-p (±350mVp-p)
		15ピン・アナログRGB端子 HD-SUB RGB信号0.7Vp-p (75Ω) 同期信号 シンク・オン・グリーン同期: 0.3Vp-p (V:60Hz, H:31kHz) セパレート同期: TTLレベル (V:60Hz, H:31kHz) 複合同期: TTLレベル (V:60Hz, H:31kHz)
	音声	オーディオL, R RCA端子
出 力	映像	D端子 (D4) 525i, 525p, 1125i, 750p対応 14ピン・アンフェノール・ハーフピッチ Y信号 1Vp-p PB信号 0.7Vp-p (±350mVp-p) PR信号 0.7Vp-p (±350mVp-p)
		15ピン・アナログRGB端子 HD-SUB RGB信号0.7Vp-p (75Ω) (V:60Hz, H:31kHz/33kHz/45kHz) ※8 セパレート同期信号: TTLレベル ※8:出力同期信号は入力される映像信号によって異なります。
	音声	オーディオL, R RCA端子
電源		専用ACアダプターにより供給 DC 12V 最大消費電流 1A 消費電力12W
本体寸法		横292mm×高さ49mm×奥行130mm (ボタン、コネクタ、ゴム足を除く)
重量※9		本体:約640g ACアダプター:約132g

※9:重量は生産時期によって若干変わることがあります。

仕 様

■ リモコン仕様

通信方式	赤外線
電池	リチウム電池 3.0V CR2025 × 1
寸法	W : 55mm × D : 7.5mm × H : 90mm
重量	約25g (リチウム電池を除く)

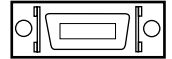
■ リチウム電池仕様

形状	CR2025
電圧	通常電圧: 3.0V

■ 端子仕様

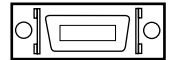
D4/D3入力端子

ピン番号	信号
1	Y
3	P _B
5	P _R
8	LINE1識別信号:525/750/1125
9	LINE2識別信号:60p/60i
11	LINE3識別信号:16:9/4:3レターボックス/4:3
2,4,6,12	GND (接地)
7,10,13,14	未結線
外周金具	GND (接地)



D4出力端子

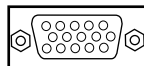
ピン番号	信号
1	Y
3	P _B
5	P _R
8	LINE 1識別信号:525/750/1125
9	LINE 2識別信号:60p/60i
11	LINE 3識別信号:16:9/4:3レターボックス/4:3
12,14	ショート
2,4,6	GND (接地)
7,10,13	未結線
外周金具	GND (接地)



仕様

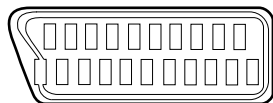
15ピン・アナログRGB端子 (15PIN HD-SUB)

ピン番号	信号	
	RGB入力	RGB出力
1	R (赤)	R (赤)
2	G (緑) / シンク・オン・グリーン	G (緑)
3	B (青)	B (青)
13	Hsync (水平同期) / Csync (複合同期)	Hsync (水平同期)
14	Vsync (垂直同期)	Vsync (垂直同期)
5,6,7,8,10	GND (接地)	GND (接地)
4,9,11,12,15	未結線	未結線
外周金具	GND (接地)	GND (接地)



21ピンRGBマルチ入力端子

ピン番号	信号
1	AUDIO L (音声 左)
5	AUDIO R (音声 右)
9	Csync (複合同期)
15	R (赤) / P _R
19	G (緑) / Y
20	B (青) / P _B
3,7,13,17,18,21 (外周)	GND (接地)
2,4,6,8,10,11,12,14,16	未結線



トラブルの対処法

- 画面が乱れて正しく映らない。画面が真っ黒でも表示されない。
 - ・家庭用テレビやディスプレイとの接続ケーブルは、本機の出力端子に正しく接続されていますか？（間違っていて入力端子に接続していませんか？）
 - ・ACアダプターの接続に問題が無いか、もう一度確認してください。
 - ・本機の電源は「オン」になっていますか？ 電源ランプ（POWER ON）が点灯していることを確認してください。
 - ・画面を表示したい映像機器や家庭用ビデオ・ゲーム機は、正しい入力端子に、正しいケーブルで接続されていますか？
 - ・家庭用テレビやディスプレイ等、接続している機器の電源は「オン」になっていますか？
 - ・入力チャンネルの選択は正しいですか？ もう一度、機器がつながっている端子の入力選択ボタン1~5（INPUT 1~5）を押してみてください。
 - ・入力3や入力5でのみ症状が発生する時は、スクリーン・メニューの「IN3_SYN」や「IN5_SYN」の設定に問題がないか確認してみてください。
 - ・DVDプレイヤーやD-VHS等で映像再生時に、早送り再生を行ったり、逆再生を行ったりすると、「画面が点滅する」、「画面が表示されない」等の症状が発生することがあります。
- 家庭用テレビ（D入力端子付きテレビ）でのみ画面が乱れて正しく映らない。画面が真っ黒でも表示されない。
 - ・家庭用テレビのD端子は、本機に接続している映像機器や家庭用ビデオ・ゲーム機に対応していますか？例えば、D1（525i）端子付きの家庭用テレビに、D2（525p：プログレッシブ）の映像は映りません。
 - ・本機やリモコンのメニュー・ボタン（MENU）を押すと画面にスクリーン・メニューが表示されますか？もし、スクリーン・メニューが表示されない時は、スクリーン・メニューのメニュー表示モード選択が「D2モード」になっている可能性があります。44ページの操作を参考にして、メニュー表示モード選択を「D1モード」に変更してみてください。
 - ・接続している映像機器や家庭用ビデオ・ゲーム機を、本機を介さず直接D端子付きの家庭用テレビに接続してみてください。もし、直接家庭用テレビに接続しても画面が映らないようであれば、その機器は本機に接続しても映りません。
 - ・スクリーン・メニューの「Y_GAIN」で画面を暗くすると、「画面が表示されなくなる」、「画面が乱れる」、「スクリーン・メニューが正しく表示できない」等の症状が発生することがあります。

トラブルの対処法

- **パソコン専用ディスプレイでのみ画面が乱れて映らない。画面が真っ黒で何も表示されない。**
 - ・本機に入力している映像信号がD1 (525i) の映像ではありませんか？
パソコン専用ディスプレイではD1 (525i) の映像は映りません。
 - ・スクリーン・メニューの表示モードは正しいですか？
本機やリモコンのメニュー・ボタン(MENU)を押すと画面に文字等が表示されますか？
もし、何も表示されない時は、スクリーン・メニューのメニューの表示モード選択が「D1モード」に設定されている可能性があります。44ページの操作を参考にして、映像未入力時のスクリーン・メニューの表示モードを「D2モード」に変更してください。
- **家庭用ビデオ・ゲーム機のD2 (525p) 映像がパソコン専用ディスプレイで映らない。**
 - ・ご使用の家庭用ビデオ・ゲーム機やソフトウェアはD2 (525p：プログレッシブ) に対応していますか？
 - ・ご使用の家庭用ビデオ・ゲーム機やソフトウェアは、現在D2 (525p：プログレッシブ) の映像を表示していますか？
家庭用ビデオ・ゲーム機は、一般的には起動時にD1 (525i：インターレース) で画面が表示されますので、パソコン専用ディスプレイでは画面が全く表示されなくなります。家庭用ビデオ・ゲーム機やソフトウェアの取扱説明書を参照して、画面表示をD2 (525p) のモードに切り替えてください。(ビデオ・ゲーム機やソフトウェアによっては、この操作を行う際に、一旦家庭用テレビ等に接続し、テレビ画面を見ながら設定を変更しなければならない事があります。)
- **「入力3」や「入力5」でのみ入力した映像やスクリーン・メニューが表示されない。**
 - ・メニュー・ボタン (MENU) と現在選択している入力チャンネルの入力選択ボタン (INPUT 3またはINPUT 5) を同時に押し、強制的にスクリーン・メニューを表示してみてください。(操作方法は45ページ参照。) 画面にスクリーン・メニューが表示されましたか？
もし、この操作で画面にスクリーン・メニューが表示可能な場合は、スクリーン・メニューの「IN3_SYN」、「IN5_SYN」の設定を間違っている可能性があります。(39ページと40ページの設定方法をご参照ください。)
スクリーン・メニューが表示されない時は、スクリーン・メニューのメニュー表示モード選択の設定が間違っている可能性がありますので、44ページの操作を参考にして、メニュー表示モードを変更してみてください。

トラブルの対処法

- **スクリーン・メニューは表示できるが、入力した機器の映像が表示されない。**
 - ・ケーブルの接続に問題がないか確認してみてください。
 - ・接続している機器の電源は全て「オン」になっていますか？
 - ・入力チャンネルの選択は正しいですか？もう一度、映像を入力したチャンネルの入力選択ボタン1~5 (INPUT 1~5) を押してみてください。
 - ・入力3や入力5でのみ症状が発生する場合は、スクリーン・メニューの「IN3_SYN」や「IN5_SYN」の設定に問題がないか確認してみてください。
- **本機がスタンバイの時、電源ボタン (POWER) を押しても電源が「オン」にならない。**
 - ・もし、この様な症状が発生したら、本機のACアダプターを一旦取り外し、5秒以上経過してから、もう一度ACアダプターを接続し、再度、電源ボタン (POWER) を押して電源をオンにしてみてください。
- **本機の電源が「オン」の時、電源ボタン (POWER) を押しても「スタンバイ (待機状態)」にならない。**
 - ・スクリーン・メニューの「POWERON (電源設定)」が「ON」に設定されていませんか？
スクリーン・メニューの「POWERON (電源設定)」が「ON」に設定されていると、ACアダプターが通電状態の時、常に本機の電源が「オン」になります。
- **本機に入力した映像を家庭用テレビに表示すると画面の比率が元映像と異なる。**
 - ・スクリーン・メニューの「AUTRATI」の設定を変更してみてください。
 - ・スクリーン・メニューの「RATIO」の設定は正しいですか？
- **パソコン専用ディスプレイで画面の比率や表示位置がおかしくなる。**
 - ・ディスプレイ側の機能で画面比率や表示位置を調整してみてください。本機ではパソコン専用ディスプレイの画面比率や表示位置を調整することはできません。
- **パソコン専用ディスプレイでD2 (525p)、D3 (1125i)、D4 (750p) の映像を表示すると、画面の左右の端が変色したり、ノイズのようなものが表示される。**
 - ・画面の左右の端は家庭用テレビでは表示されていない部分ですが、パソコン専用ディスプレイでは、表示の方式上、本来見えない部分まで表示されてしまいます。本機では、この問題は改善できません。

トラブルの対処法

- 画面比率自動選択 (AUTRATI) が正しく機能しない。
 - ・家庭用テレビや表示機器によっては「AUTRATI」がまったく機能しないことがあります。これは家庭用テレビや接続している機器の仕様です。また、接続している機器やケーブルが画面比率信号に対応していない時は、画面比率の自動選択はできません。
 - ・入力側の機器がRGBケーブルで接続されている時や、コンポーネント・ビデオ・ケーブル (Y,Pb,Pr) で接続されている時は、「AUTRATI」の機能は動作しません。
 - ・D1 (525i) では正常に動作するのにD2 (525p) やD3 (1125i) では「RATIO」が機能しないことがあります。これは家庭用テレビや表示機器の仕様です。これらの症状 (動作) はメーカーやテレビの機種によって異なります。
 - ・パソコン専用ディスプレイに映像を表示していませんか？
本機のRGB出力端子に接続された表示機器 (パソコン専用ディスプレイ) では「AUTRATI」の機能は動作しません。
- 画面比率手動選択 (RATIO) が正しく機能していない。
 - ・スクリーン・メニューの「AUTRATI」の設定が「ON」になっていませんか？
「RATIO」を使用する時は、「AUTRATI」の設定を「OFF」にしてください。
 - ・家庭用テレビや表示機器によっては「RATIO」がまったく機能しないことがあります。これは家庭用テレビや表示機器側の仕様です。
 - ・D1 (525i) では正常に動作するのにD2 (525p) やD3 (1125i) では「RATIO」が機能しないことがあります。これは家庭用テレビや表示機器の仕様です。これらの症状 (動作) はメーカーやテレビの機種によって異なります。
 - ・パソコン専用ディスプレイに映像を表示していませんか？
本機のRGB出力端子に接続された表示機器 (パソコン専用ディスプレイ) では「RATIO」は機能しません。
 - ・入力側の映像機器が出力する映像信号に特殊なワイド識別信号が含まれていると、設定が「4:3」に設定されていても、「16:9」の比率で表示されることがあります。
- リモコンのRATIOボタンや本体の「▲/◀」ボタン (RATIOボタン) を押しても、画面に「AUTO」と表示され、画面の比率を選択できない。
 - ・スクリーン・メニューの「AUTRATI」の設定が「ON」になっていませんか？
「AUTRATI」の設定を「OFF」に変更してください。

トラブルの対処法

- 画面に表示される本機のメッセージ (入力チャンネルの表示など) がテレビ画面からはみ出てしまい、見るできない。
 - ・スクリーン・メニューの「RATIO」の設定が「4:3LB」になっていると、テレビによっては画面を拡大表示しますので、その際、入力チャンネルの表示 (例えば「IN 1」の表示等) が画面外に表示されて、見えないことがあります。
- パソコン専用ディスプレイで画面を表示すると、家庭用テレビで表示した時と画面の色合いが違う。
 - ・パソコン専用ディスプレイと、家庭用テレビでは根本的に色の表現力が違います。このため、色合いを同じにすることはできませんが、スクリーン・メニューの「PB_GAIN」や「PR_GAIN」を調整することで、若干の色合いを変更することができます。
- 音声にノイズが混入する。
 - ・接続している機器の音声ケーブルはしっかりと差し込まれていますか？
接続している全てのオーディオ・ケーブル (音声ケーブル) は、しっかりと接続してください。オーディオ・ケーブルは、1本でも接触不良が発生していると、出力側の音声にノイズが混入することがあります。
 - ・「入力5」に接続しているケーブルのコネクターは、しっかりと接続されていますか？
- スクリーン・メニューを操作していたら、画面が突然表示されなくなった。
 - ・「Y_GAIN」を調整し画面を暗くすると、「画面が表示されなくなる。」「画面が乱れる。」「スクリーン・メニューが正しく表示できなくなる。」等の症状が発生します。この問題は、「SYNC_UP」や「ATSY_UP」の設定で改善できることがあります。
 - ・スクリーン・メニューの「NOINPUT」の設定は正しいですか？

※画面が表示されなくなった時にスクリーン・メニューを表示するには、45ページの操作が必要です。「NOINPUT」の設定が原因で、画面が表示されない時は、スクリーン・メニューを表示できませんので、44ページの操作で表示モードを変更してください。

トラブルの対処法

- 「入力3」や「入力5」の端子から映像を入力すると、画面が緑色に変色したり、画面が全く表示されない。また、画面がピンク色になることがある。
 - ・スクリーン・メニューの「IN3_SYN」や「IN5_SYN」の設定に問題がないか確認してください。「IN3_SYN」や「IN5_SYN」の設定方法は39ページと40ページを参照してください。
 - ・家庭用ビデオ・ゲーム機側のシステム設定などで映像出力設定が変更できる場合（「RGB」と「コンポーネント・ビデオ（Y,PB,PR）」の切り替え等）は、それらの切り替え設定が正しいか確認してみてください。
- 「入力5」から「コンポーネント-RGB変換ケーブル（同梱品）」を使用して、コンポーネント・ビデオ映像を入力すると、画面が変色したり、表示されなくなる。
 - ・スクリーン・メニューの「IN5_SYN」の設定に問題がないか確認してみてください。（「IN5_SYN」の設定方法は40ページを参照してください。）
- 「入力5」にRGBケーブルで家庭用ビデオ・ゲーム機を接続しているが、家庭用ビデオ・ゲーム機でDVD映像を表示すると画面が変色したり、画面が歪む。
 - ・家庭用ビデオ・ゲーム機の機種によっては、ビデオ・ゲーム機側の映像出力設定がRGBに設定されていても、DVDを再生すると自動的に映像出力がコンポーネント・ビデオ（Y,PB,PR）に変更されてしまうことがあります。この様な家庭用ビデオ・ゲーム機を接続する際は、スクリーン・メニューの「IN5_SYN」の設定を「YUV」に変更してください。
尚、本機にコンポーネント・ビデオ（Y,PB,PR）映像を入力される場合は、原則として各家庭用ビデオ・ゲーム機専用の「コンポーネント・ビデオ・ケーブル」か「D端子ケーブル」を使用してください。（RGBケーブルを代用してコンポーネント・ビデオを入力すると、RGBケーブルの仕様上の問題から、「画面が歪む。」「画面が点滅する。」などの症状が発生することがあります。）
- スクリーン・メニューの「POWERON」設定を「ON」に設定した状態で、外部の電源スイッチ付きコンセントなどから本機の電源を「オン」すると、画面の表示がおかしくなる。
 - ・外部コンセントの電源スイッチを一旦オフにして、5秒以上経過してから、再度、電源スイッチを「オン」にしてみてください。それでも症状が改善されない場合は、本機の設定内容をリセットしてみてください。リセット方法は45ページをご覧ください。

トラブルの対処法

- 本機のD4出力端子に、液晶テレビ、プラズマ・テレビ、または液晶プロジェクターを接続すると、画面が「乱れる」、「点滅する」、「ちらつく」ことがある。
 - ・本機への映像入力がRGB信号ではありませんか？
液晶テレビやプラズマ・テレビ、液晶プロジェクターで正しい表示を行うためには、本機への入力がD映像、もしくはコンポーネント・ビデオ映像でなければなりません。
- 本機のRGB出力端子に、液晶ディスプレイ、プラズマ・ディスプレイ、液晶プロジェクターを接続して画面を表示すると、画面が「乱れる」、「点滅する」、「ちらつく」ことがある。
 - ・本機のRGB出力端子に、液晶ディスプレイやプラズマ・ディスプレイ、液晶プロジェクターを接続された際の動作保証はいたしかねます。
- 時々画面がちらついたり、点滅する。またスクリーン・メニューにノイズのような物が混じって表示される。
 - ・スクリーン・メニューの「SYNC_UP」の設定を変更してみてください。
 - ・スクリーン・メニューの「ATSY_UP」の設定を変更してみてください。
 - ・スクリーン・メニューの「H_SEP.」の設定を変更してみてください。
 - ・本機の入力5でのみ症状が発生するときは、接続ケーブルを確認してみてください。RGBケーブルを使用してコンポーネント・ビデオ映像（Y,PB,PR）信号を入力していませんか？
RGBケーブルを使用してコンポーネント・ビデオ映像（Y,PB,PR）信号を入力すると、正しく表示できないことがあります。
- スクリーン・メニューの「Y_GAIN」の設定を低くして画面を暗くすると、家庭用テレビの画面が点滅したり、歪んだりする。または、画面が全く表示されなくなる。
 - ・スクリーン・メニューの「Y_GAIN」の設定を工場出荷時の設定に戻してください。テレビによっては「Y_GAIN」の設定を変更すると、映像を正しく表示できないことがあります。
 - ・スクリーン・メニューの「ATSY_UP」の設定を「ON」に設定してみてください。それでも症状が改善されない時は、「SYNC_UP」の設定を「ON」に設定してみてください。
 - ・スクリーン・メニューの「H_SEP.」の設定を変更してみてください。

トラブルの対処法

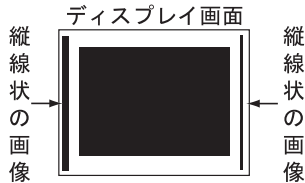
- 音声が出力されない。
 - ・オーディオ・ケーブル（音声ケーブル）は正しく接続されていますか？
 - ・家庭用テレビ等の音量調整は適切ですか？
- 映像ケーブルのみを取り外すと、しばらくの間音声が聞こえない。
 - ・映像ケーブルのみを取り外すと、数秒間音声が出力されないことがあります。
- 入力を切り替えると一瞬大きな音声やノイズが聞こえる。
 - ・入力を切り替えると、一瞬大きな音声やノイズが聞こえることがあります。この問題は改善できません。
- 本機の電源がスタンバイの時、音声にわずかにノイズが混入してしまう。
 - ・本機の電源がスタンバイの時、本機から音声がわずかに出力されることがあり、それがノイズとして聞こえることがあります。
- 表示している画像の明るい部分が色ダレする。
 - ・スクリーン・メニューの「Y_GAIN」、「PB_GAIN」、「PR_GAIN」を調整してみてください。
- スクリーン・メニューや状態表示（ステータス表示）の文字の位置やサイズが入力される映像信号によって変わってしまう。
 - ・スクリーン・メニューや状態表示（ステータス表示）の文字の位置やサイズは入力される映像信号や画面モードによって変わります。
- 入力チャンネルが勝手に切り替わってしまう。
 - ・スクリーン・メニューの「DEMO」が「ON」に設定されていませんか？
- 「DEMO」機能使用時に、実際に画面を表示している時間（秒数）と、「IN1_DEM～IN5_DEM」で設定している時間（秒数）に誤差が発生する。
 - ・「DEMO」機能の秒数カウントは、入力される映像信号の垂直同期信号を基準に決定しています。このため垂直同期信号が60Hzから微妙にずれている様な映像が入力された場合、表示時間に誤差が発生することがあります。また、映像信号が未入力の時も、表示時間に誤差が発生することがあります。

トラブルの対処法

- スクリーン・メニューで設定していた内容が、記憶されない。
 - ・スクリーン・メニューで設定した内容は、本機の電源ボタン（POWER）を押して「電源をスタンバイにする時」、またはメニュー・ボタン（MENU）を押して「スクリーン・メニューを終了する時」に設定を記憶します。このため、スクリーン・メニューを操作中に、入力選択ボタン（INPUT）を押して入力チャンネルを切り替えたり、ACアダプターを取り外してしまうと設定は記憶されません。
- 「入力3」のRGB入力端子にパソコンを接続すると画面が表示されない。
 - ・「入力3」のRGB入力端子はパソコンとの接続を前提としておりませんので、表示は保証できません。
- 入力3のRGB入力端子からRGB信号を入力すると、映像の鮮明度が低下している。
 - ・入力する映像の画面モードによって十分な鮮明度が得られないことがあります。
 - ・入力3のRGB入力端子から映像を入力された映像を、RGB出力端子から出力しパソコン専用ディスプレイに表示すると、元映像よりも鮮明度が低下します。
- 旧型の家庭用ビデオ・ゲーム機のRGB映像を、D1（525i）の映像に変換して表示すると、画面が点滅したり、乱れたりする。
 - ・旧型の家庭用ビデオ・ゲーム機のRGB映像信号は、NTSC（525i）と若干異なった同期信号（タイミング信号）を出力しており、テレビの機種によって正しく表示できないことがあります。

トラブルの対処法

- パソコン専用ディスプレイで画面を表示すると、画面の右端や左端に縦線（ノイズ）が表示される。
 - ・本機で変換した映像を、パソコン専用ディスプレイに表示すると画面の左右端（非表示領域）に、縦線の様な画像が表示されることがあります。これは本機の仕様であり、改善できません。



- 「入力3」のRGB入力端子からRGB映像を入力すると、画面が歪んだり、乱れたりする。
 - ・入力されているRGB映像の同期信号はセパレート方式の同期信号ですか？
入力3のRGB入力端子から、複合同期のRGB信号やシンク・オン・グリーン同期のRGB信号を入力すると、画面が歪んだり、画面が乱れたりすることがあります。
 - ・スクリーン・メニューの「IN3_SYN」の設定は正しいですか？
 - ・入力されているRGB映像の水平同期周波数は31kHzですか？ また垂直同期周波数は60Hzですか？ その他の、同期周波数の映像信号を入力された際の表示は保証いたしかねます。
- パソコン専用ディスプレイにD3（1125i）の映像を表示すると、画面の上部が若干歪むことがある。
 - ・D3（1125i）の映像をパソコン専用ディスプレイに表示すると、希に画面の上部が若干歪む機種があります。この歪みは相性によって発生するもので、本機では改善できません。
- 「入力3」や「入力5」の画面を表示中にIN3_SYNやIN5_SYNの設定を変更していると画面が乱れた。
 - ・入力3や入力5で、IN3_SYNやIN5_SYNの項目設定を変更している最中に入力信号の画面モードが変わると、画面が乱れたままになることがあります。
この様なときは、メニュー・ボタン(MENU)を2回押して、スクリーン・メニュー表示を終了することで画面の表示を正常な状態に戻すことができます。(電源ボタン(POWER)を押して本機の電源を入れ直す操作でも、正常な表示に戻すことができます。)

トラブルの対処法

これらのチェックでも原因が見つからなかった場合は、まず弊社にご連絡いただき、担当者の指示に従ってください。それでも問題が解決しなかった場合は、お手数ですが同梱の保証書と製品サポート・シートに必要事項をご記入のうえ、商品と一緒に弊社までお送りください。保証規定にそって無料で修理いたします。(修理をご依頼の際は、本体、ケーブル、保証書、製品サポート・シートなどの同梱品を必ずお送りください。)

ただし、保証書が無い場合や、保証期間を過ぎてからの修理、保証期間内であっても故障の原因がお客様の不注意によるものであった場合は、修理費の請求をさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

動作不良の症状や故障の状況に関しては、添付の「製品サポート・シート」に詳しくご記入いただき、修理ご依頼の際に同梱してお送りください。

尚、修理にかかる時間は、場合によっては最長で2週間前後かかることがあります。

〈製品内容のご質問・修理のご依頼は下記までお願いいたします〉

〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4

朝日新聞ビル6階 電波新聞社・大阪本社内

マイコンソフト株式会社

TEL 06-6203-2827

FAX 06-6227-5153

〈お問い合わせの多いご質問は、弊社ホームページにて閲覧可能です〉

弊社ホームページURL <http://www.micomsoft.co.jp/>

送料・梱包に関して

- 原則としてお客様から弊社へ製品をお送りになる際の送料はお客様のご負担にてお願いいたします。ただし、初期不良の際の送料に関しましては、発送前にお電話などで弊社にお問い合わせください。(事前のご連絡無しに着払いで製品を発送されることはご遠慮ください。)

尚、弊社から、お客様へ製品を発送する際の送料は弊社が負担させていただきます。

- 本機は精密機器です。発送の際は、「われもの」または「精密機器」として発送してください。また、発送時の梱包は、クッションで製品を包むなど、輸送時に衝撃が加わらないようご配慮ください。

尚、輸送中の事故や衝撃による破損に関しましては、弊社は責任を負いかねます。